

令和4年度
橋本市まちづくりのためのアンケート
調査報告書



橋本市マスコットキャラクター
はしぼう

令和5年3月

橋本市 総合政策部 政策企画課

目次

I	調査の目的	・・・	2
	調査の概要		
	（1）調査項目		
	（2）調査設計		
	（3）回収結果		
II	アンケート結果	・・・	4
	ア ご自身のことについて		
	イ 橋本市に対する想いについて		
	ウ 結婚・妊娠・出産について		
	エ 橋本市の取組みについて、満足度・重要度【9政策37項目】		
	オ 協働のまちづくりについて		
	カ SDGs について		
	キ 食品ロスについて		
	ク 広報紙・ホームページについて		
	ケ インターネットの利用について		

I 調査の目的

本調査は、人口減少や少子高齢化が進んでいる中で、市が取り組んでいる施策に対する満足度・重要度の調査を行い、市民の皆様のごニーズを把握し、その結果をこれからの市政運営に反映させていくことを目的とする。

●調査の概要

(1) 調査項目

ア ご自身のことについて

イ 橋本市に対する想いについて

ウ 結婚・妊娠・出産について

エ 橋本市の取組みについて、満足度・重要度【9政策37項目】

【ともに創る】

政策1 賑わいと活力を創出する地域産業づくり

①商工業・地場産業 ②農林業の振興 ③観光事業

政策2 雇用の創出と就労環境づくり

①雇用、就労、労働環境の整備 ②企業誘致の促進

政策3 充実した情報整備と魅力的なまちづくり

①移住定住の促進 ②市民に身近でわかりやすい広報

【ともに守る】

政策4 安全安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり

①危機管理・災害対策事業 ②消防・救急 ③交通安全・防犯

④消費者普及啓発、トラブル相談体制 ⑤地域公共交通

⑥計画的な土地利用、景観の保全 ⑦道路の計画的な点検・修繕

⑧上下水道の整備

政策5 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり

①自然環境保護の取組 ②ごみの減量・リサイクルの取組

③生活環境汚染対策の推進 ④住環境（耐震化促進、空家対策）

⑤公園・緑地の維持管理

政策6 住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

①健康づくり支援と医療体制 ②社会保障制度の適正な運用

③地域における支え合いの仕組み ④高齢者にとっての暮らしやすさ

⑤障がい者にとっての暮らしやすさ

【ともに育てる】

政策7 一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり

①人権尊重と平和学習の推進 ②男女共同参画の推進

政策8 妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

①妊娠・出産・育児環境 ②子ども家庭支援

③地域・家庭・学校・行政の連携 ④安全・安心な学校教育環境

政策9 生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

①生涯学習の推進 ②スポーツ施設、活動の振興

③歴史文化遺産の保全と活用 ④文化芸術活動、国際交流の推進

⑤青少年健全育成 ⑥地域コミュニティ・協働のまちづくり推進

オ 協働のまちづくりについて

カ SDGs について

キ 食品ロスについて

ク 広報紙・ホームページについて

ケ インターネットの利用について

(2) 調査設計

ア 調査地域 橋本市全域

イ 調査対象 橋本市在住の18歳以上の方

ウ 対象者数 2,000人

エ 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出

オ 調査方法 郵送による配布・回収（一部Web上での回答）

カ 調査期間 令和4年12月15日（木）から令和5年1月6日（金）

(3) 回収結果

ア 有効回収数 576件（郵送：495件、Web：81件）

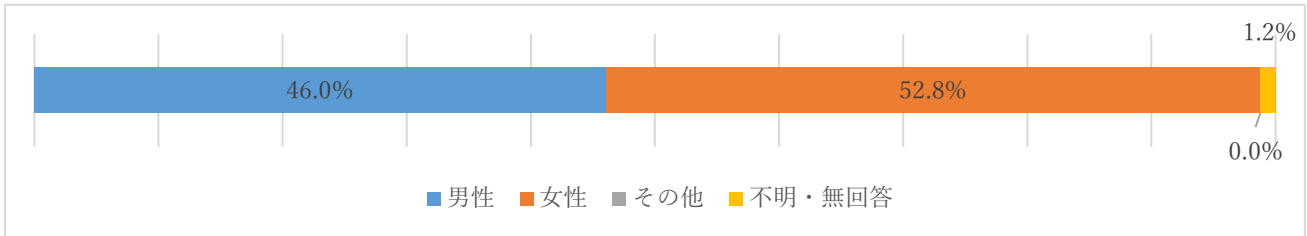
イ 回収率 28.8%

Ⅱ アンケート結果

ア ご自身のことについて

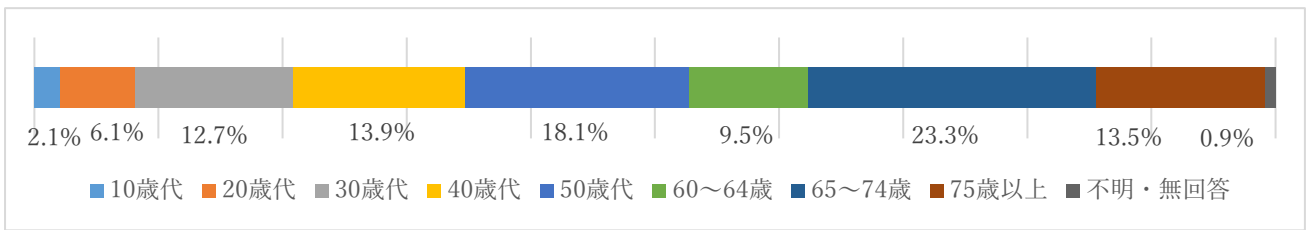
問1 あなたの性別を教えてください。

男性が46%、女性が52.8%、その他が1.2%となっています。



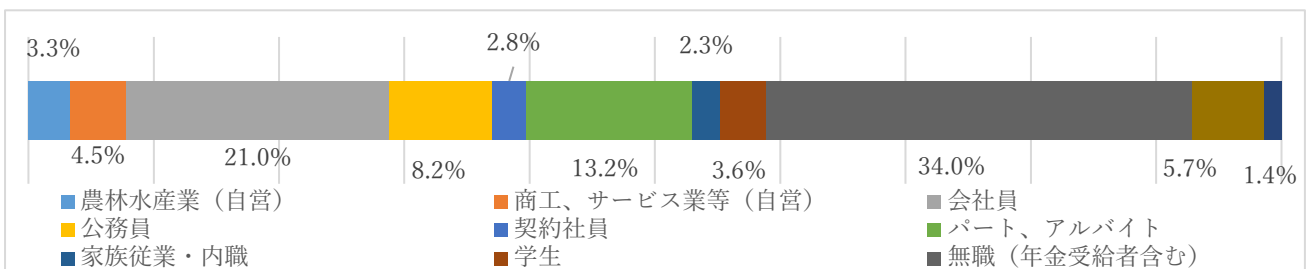
問2 あなたの年齢を教えてください。

65歳から74歳が最も多く23.3%、次いで50歳代が18.1%となっています。



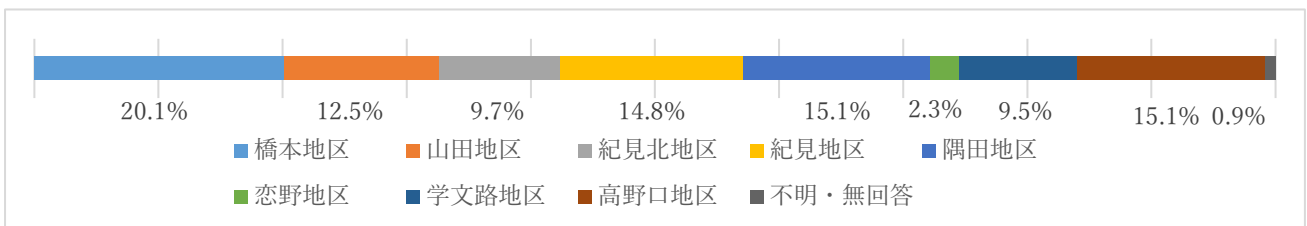
問3 あなたの職業を教えてください。

無職（年金受給者含む）が最も多く34%、次いで会社員が21%となっています。



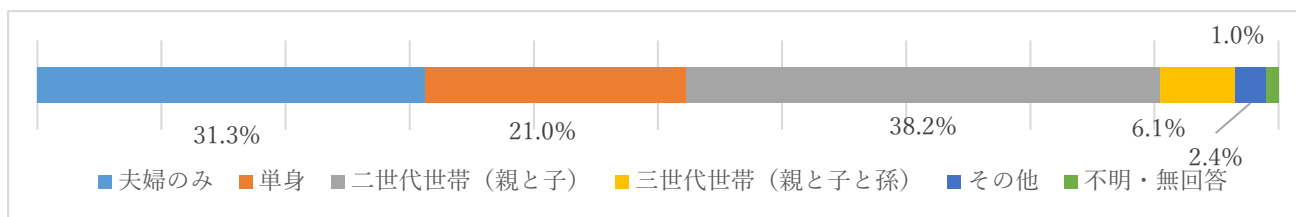
問4 あなたのお住まいの地区（公民館区分）について教えてください。

橋本地区が20.1%と最も多く、次いで隅田地区と高野口地区が15.1%となっています。



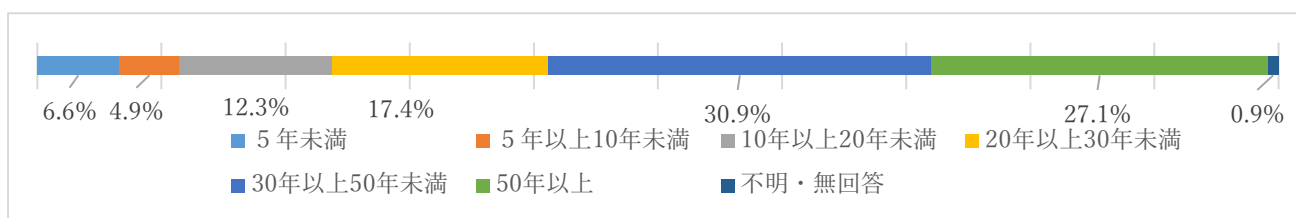
問5 あなたの家族構成について教えてください。

二世帯世帯が38.2%と最も多く、次いで夫婦のみの31.3%となっています。



問6 あなたが橋本市にお住まいになって通算で何年になりますか。

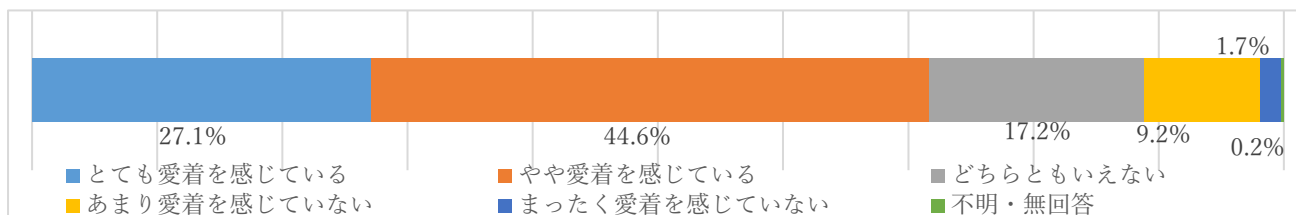
30年以上50年未満が最も多く30.9%、次いで50年以上が27.1%となっています。



イ 橋本市にて対する想いについ

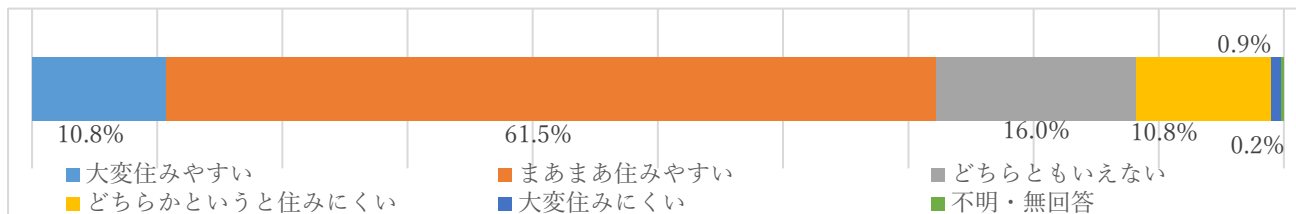
問7 あなたは、橋本市やお住まいの地域に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

「とても愛着を感じている」と「やや愛着を感じている」の合計が71.7%、「あまり愛着を感じていない」と「まったく愛着を感じていない」の合計は10.9%となっています。



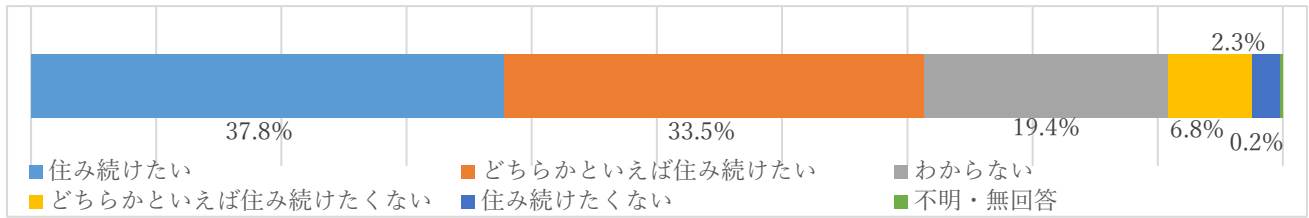
問8 あなたにとって、橋本市やお住まいの地域の住み心地はいかがですか。

「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合計が72.3%、「どちらかというと住みにくい」と「大変住みにくい」の合計が11.7%となっています。



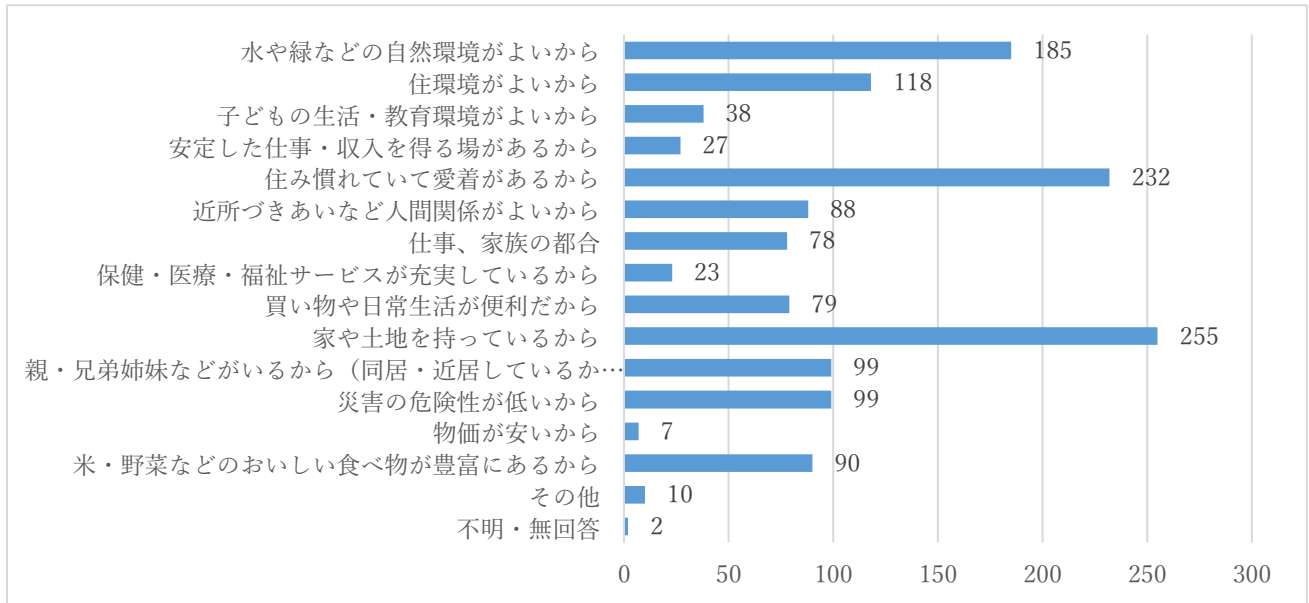
問9 あなたは、今後も橋本市に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計が71.3%、「どちらかといえば住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合計が9.1%となっています。



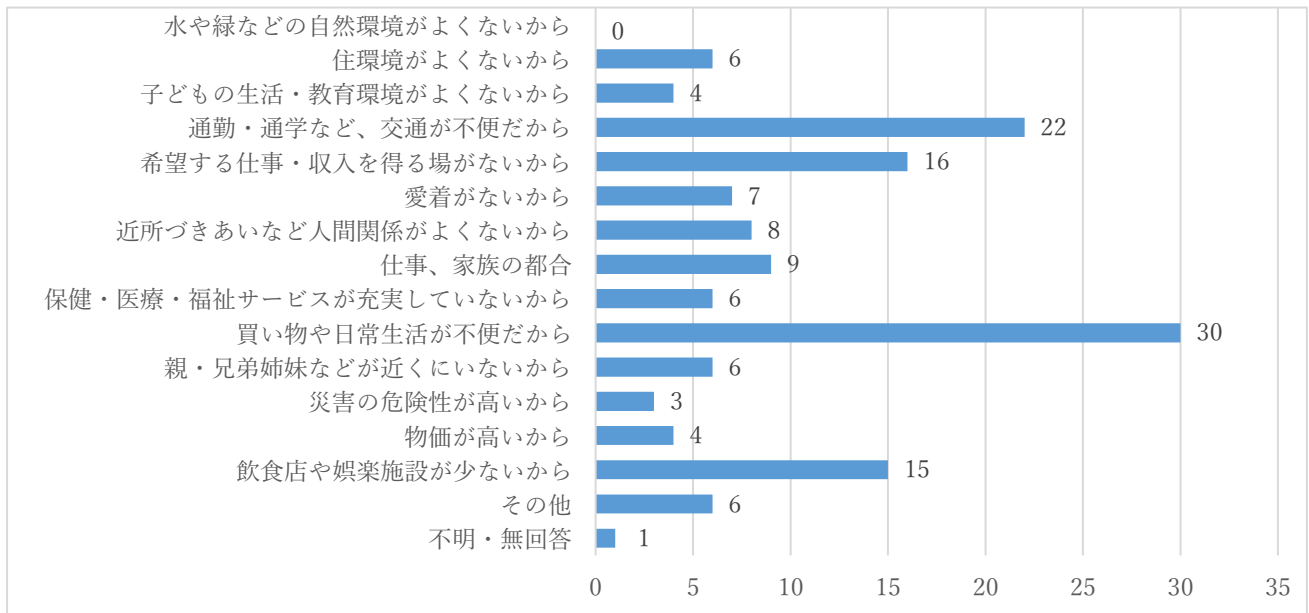
問10 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。(複数回答)

(問9で「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を選んだ方が対象)



問11 あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。(複数回答)

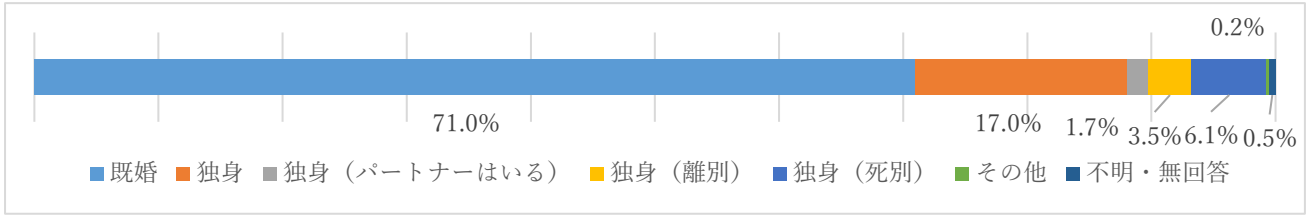
(問9で「どちらかといえば住み続けたくない」と「住み続けたくない」を選んだ方が対象)



ウ 結婚・妊娠・出産について

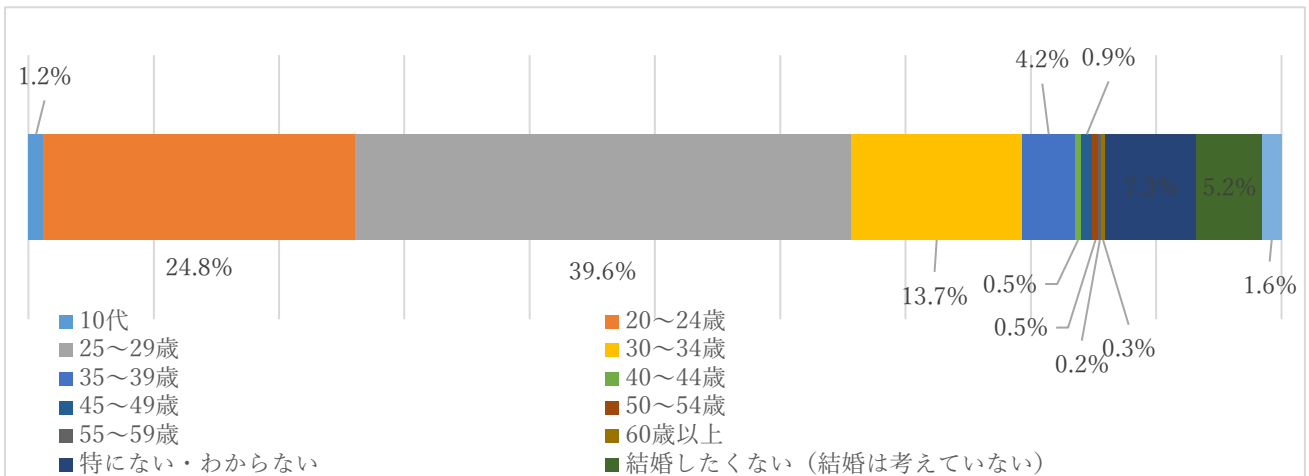
問12 あなたは現在結婚しておられますか。

既婚が最も多く71%、次いで独身が17%となっています。



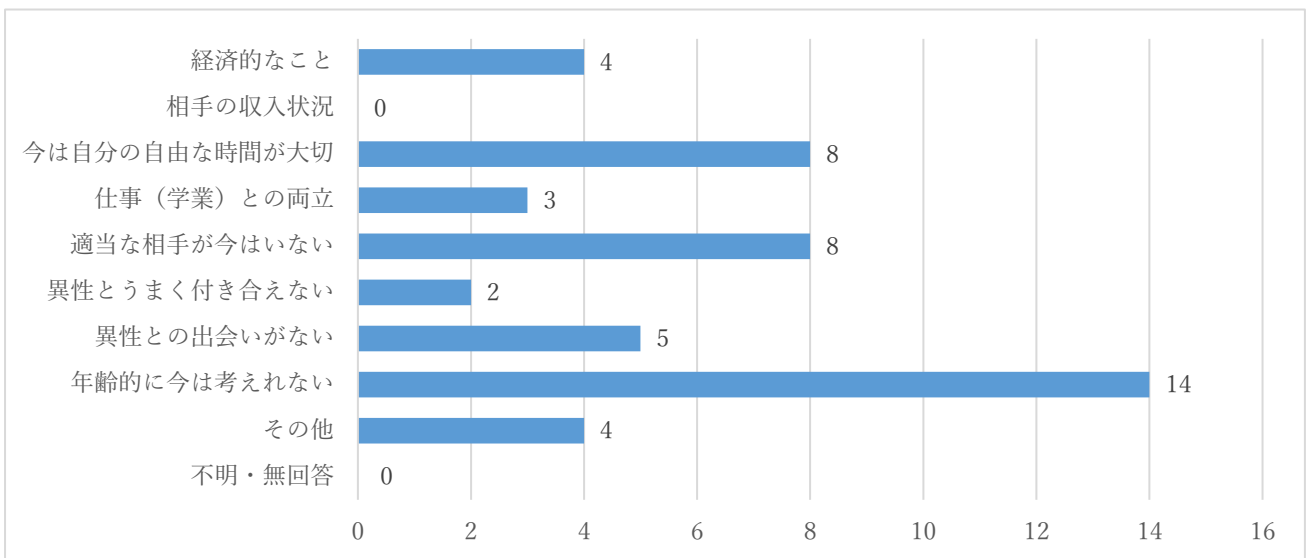
問13 何歳で結婚されましたか。または、何歳で結婚（再婚）したいとお考えですか。

25～29歳までが最も多く39.6%、次いで20～24歳が24.8%となっています。



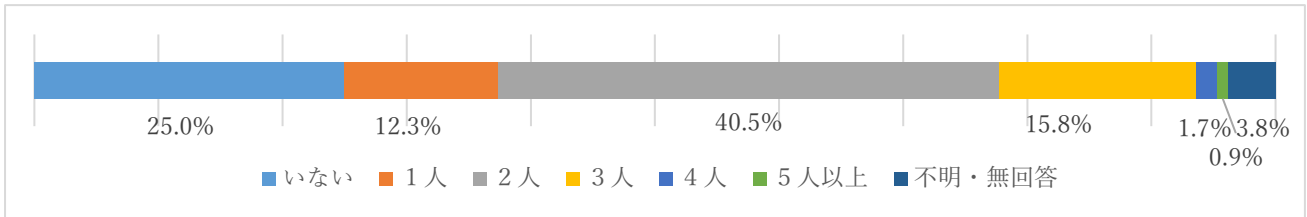
問14 主な理由についてお聞かせください。（複数回答）

（問13で「結婚したくない(結婚は考えていない)」を選んだ方が対象）



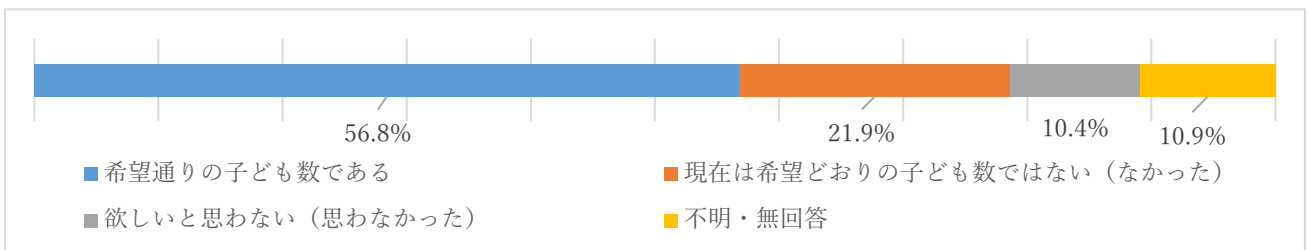
問15 現在お子さんは何人いらっしゃいますか。

2人が最も多く40.5%、次いで、いないが25%となっています。

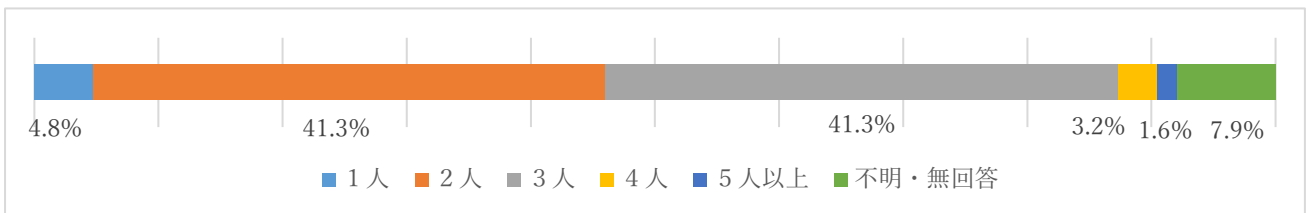


問16-1 お子さんが何人ほしいと思われるか、希望と現状の状況についてお聞かせください。

希望通りの子ども数であるが最も多く56.8%、次いで現在は希望どおりの子ども数ではない（なかった）が21.9%となっています。

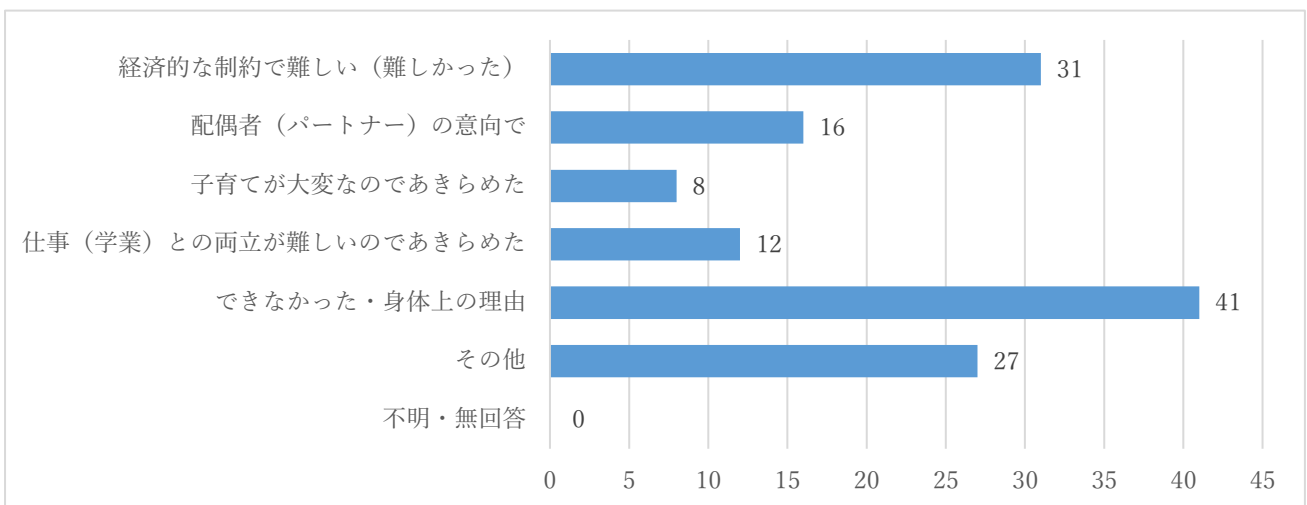


問16-2 「現在は希望どおりの子ども数ではない（なかった）」を選んだ方の希望の子ども数について教えてください

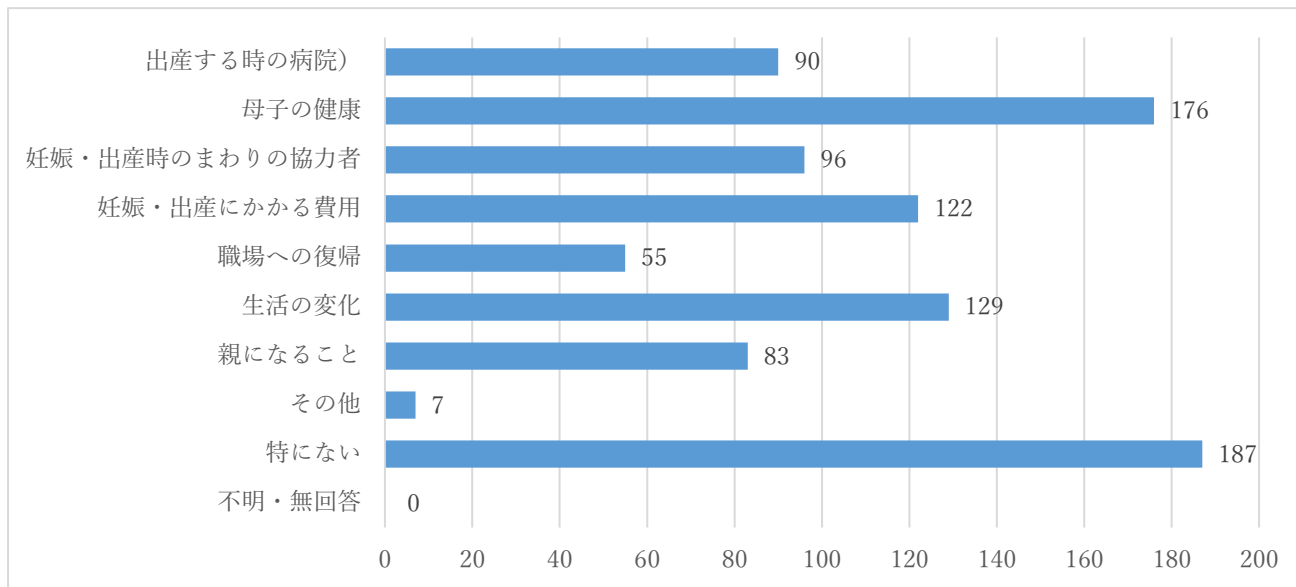


問17 主な理由についてお聞かせください。（複数回答）

（問16で「現在は希望どおりの子ども数ではない（なかった）」を選んだ方が対象）



問18 妊娠・出産に関して不安に思うこと（不安だったこと）についてお聞かせください。（複数回答）



エ 橋本市の取組みについて、満足度・重要度【9政策37項目】

問19 あなたは、橋本市が行っている政策についてどの程度満足されていますか。また、どの程度重要だと思われますか。

・満足度について、「満足」「やや満足」「あまり満足ではない」「満足でない」「わからない」の5段階で回答をしていただいたところ、それぞれの上位5項目は次の通りとなりました。

【満足度の高い項目】「満足」「やや満足」を選択した割合

「消防・救急」	・・・	49.0%
「健康づくり支援と医療体制」	・・・	47.7%
「交通安全・防犯」	・・・	42.2%
「市民に身近でわかりやすい広報」	・・・	39.6%
「ごみの減量・リサイクルの取組」	・・・	38.4%

最も割合の多かった項目は「消防・救急」の49.0%で、最も割合の少なかった項目は「観光事業」の9.7%となっています。

【満足度の低い項目】「あまり満足でない」「満足でない」を選択した割合

「地域公共交通」	・・・	64.2%
「道路の計画的な点検・修繕」	・・・	58.5%
「観光事業」	・・・	58.3%
「商工業・地場産業」	・・・	56.9%
「移住定住の促進」	・・・	55.2%

最も割合が多かった項目は「地域公共交通」の64.2%で、最も割合の少なかった項目は「文化芸術活動、国際交流の推進」の20%となっています。

- ・重要度について、「重要」「やや重要」「あまり重要ではない」「重要でない」「わからない」の5段階で回答をしていただいたところ、それぞれの上位5項目は次の通りとなりました。

【重要度の高い項目】「重要」「やや重要」と回答した割合

「危機管理・災害対策事業」	・・・	85.6%
「消防・救急」	・・・	84.9%
「健康づくり支援と医療体制」	・・・	84.7%
「ごみの減量・リサイクルの取組」	・・・	84.4%
「道路の計画的な点検・修繕」	・・・	84.0%

最も割合が多かった項目は「危機管理・災害対策事業」の85.6%で、最も割合の少なかった項目は「文化芸術活動、国際交流の推進」の47.4%となっています。

【重要度の低い項目】「あまり重要でない」「重要でない」と回答した割合

「歴史文化遺産の保全と活用」	・・・	22.7%
「文化芸術活動、国際交流の推進」	・・・	22.6%
「地域コミュニティ・協働のまちづくり推進」	・・・	18.4%
「生涯学習の推進」	・・・	15.5%
「計画的な土地利用、景観の保全」	・・・	15.1%

最も割合が多かった項目は「歴史文化遺産の保全と活用」の22.7%で、最も割合の少なかった項目は「妊娠・出産・育児環境」の1.9%となっています。

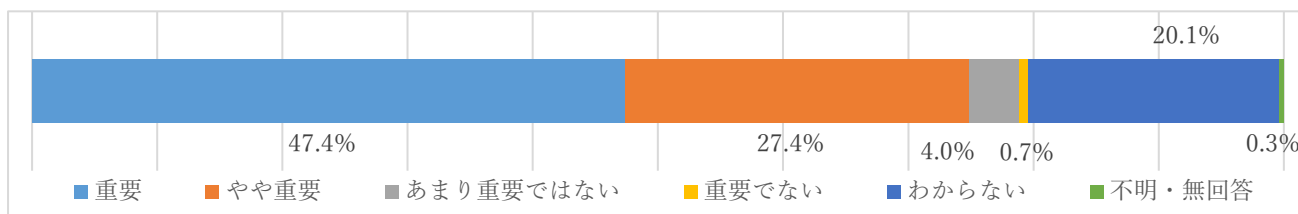
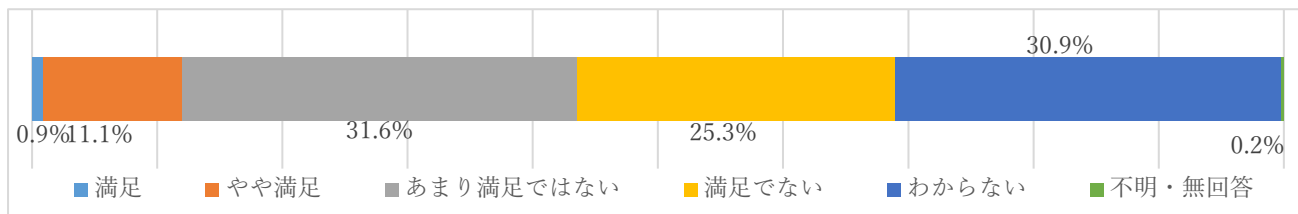
各施策の満足度、重要度は以下のとおりです。

【ともに創る】

政策1 賑わいと活力を創出する地域産業づくり

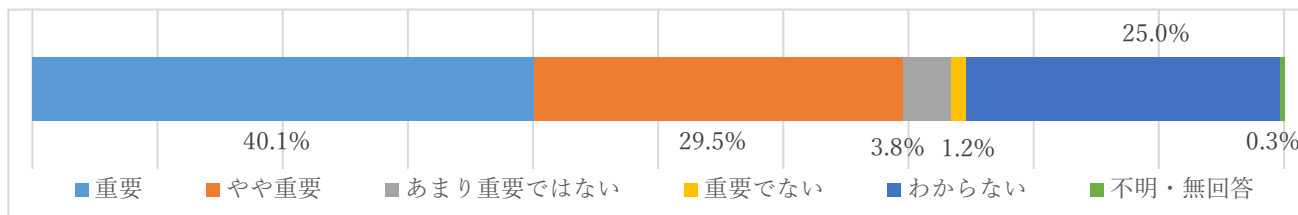
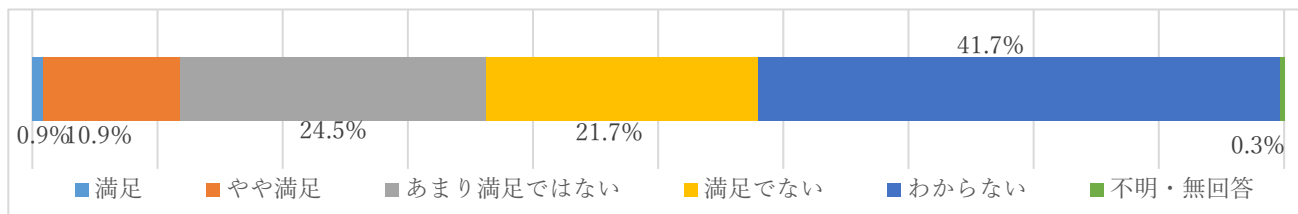
①商工業・地場産業

取組：空き店舗の利活用、地場産業のPR活動、中小企業への経営指導、後継者育成や企業への支援 等



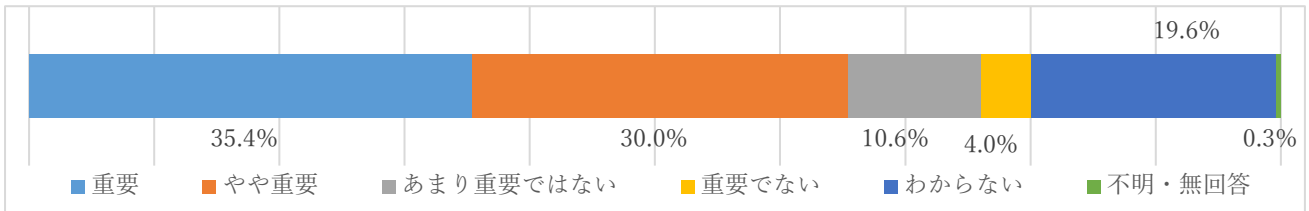
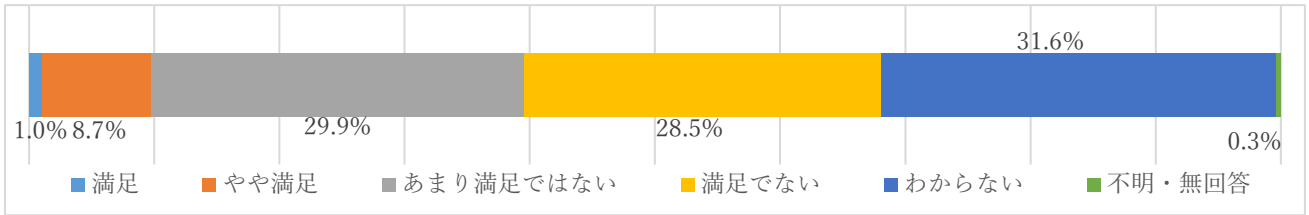
②農林業の振興

取組：担い手確保への支援、新規農産物の開発、森林や林道の維持管理、森林環境の保全 等



③観光事業

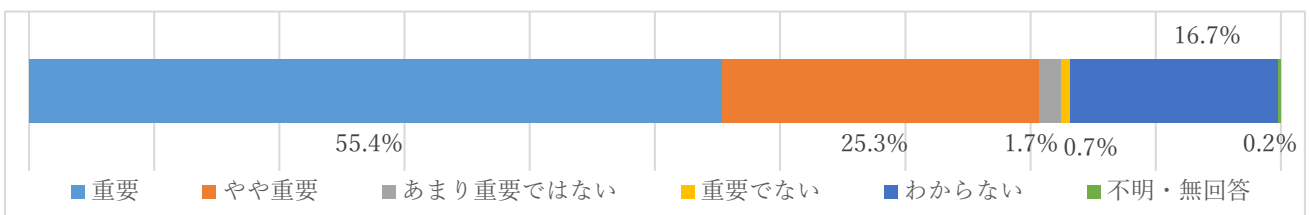
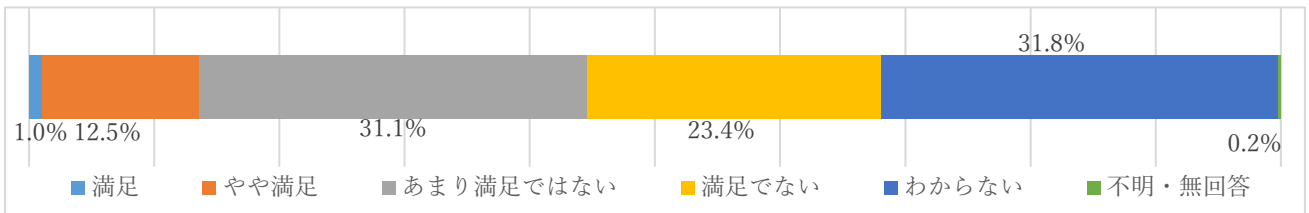
取組：体験観光や周遊観光の推進、外国人誘客と受入れ環境の整備、市の魅力発信 等



政策 2 雇用の創出と就労環境づくり

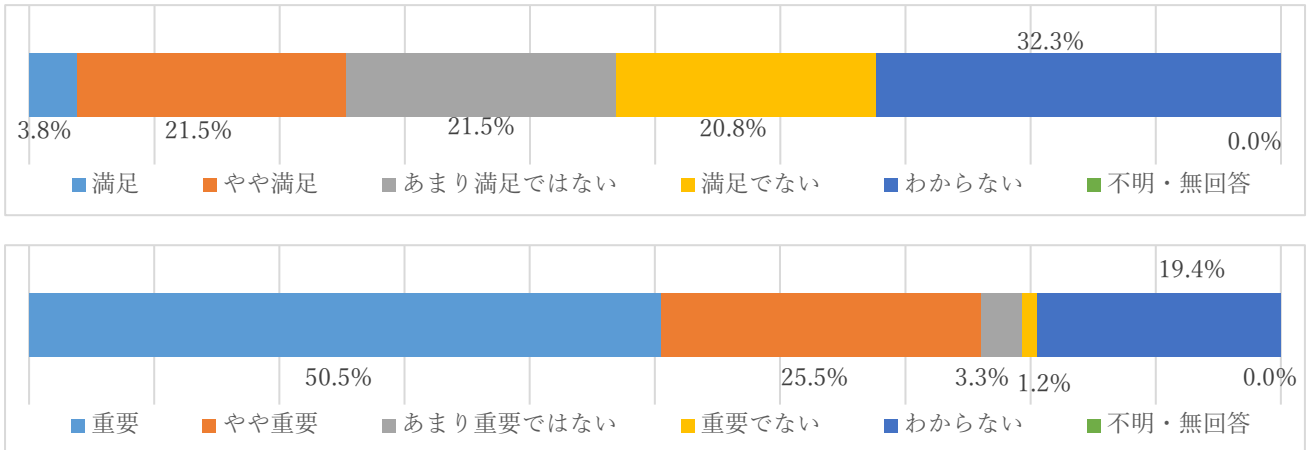
①雇用、就労、労働環境の整備

取組：雇用の場の創出・確保、就労環境の改善のための各種制度の周知・啓発、創業・起業への支援、年齢や適性・能力に応じた就業機会の提供 等



②企業誘致の促進

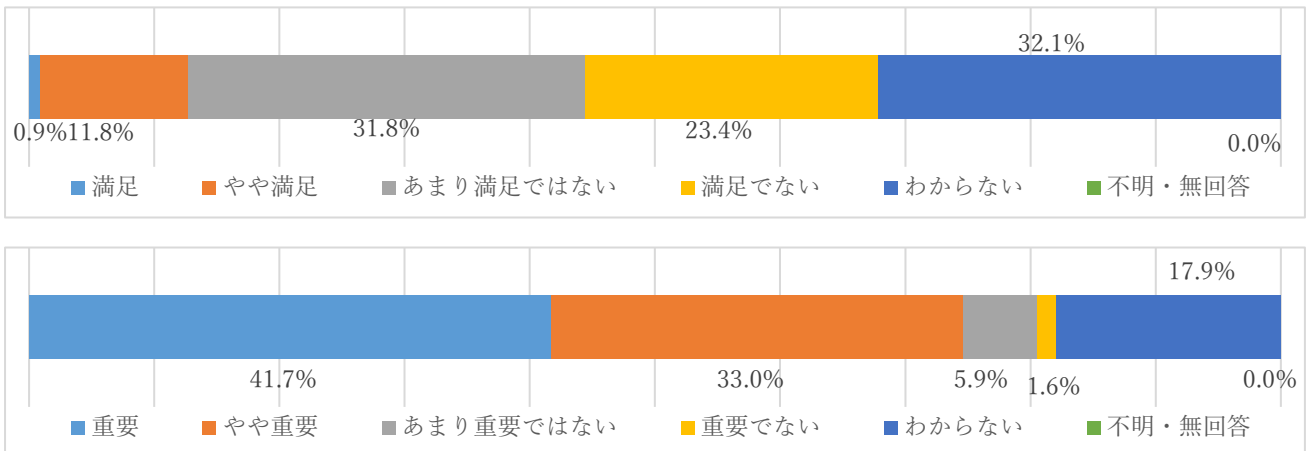
取組：未利用地の企業用地としての誘導、IT関連企業や宿泊業等の誘致活動促進 等



政策3 充実した情報整備と魅力的なまちづくり

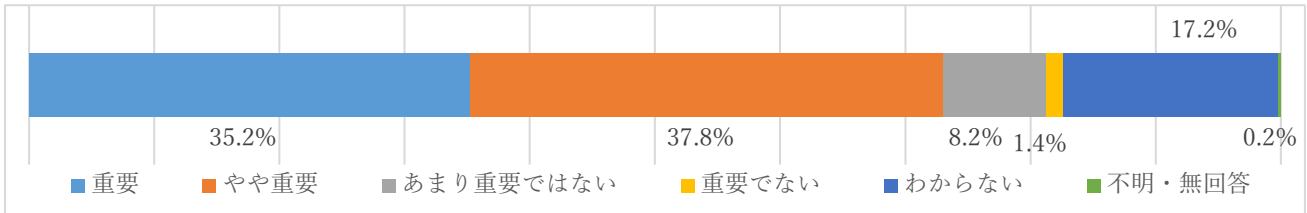
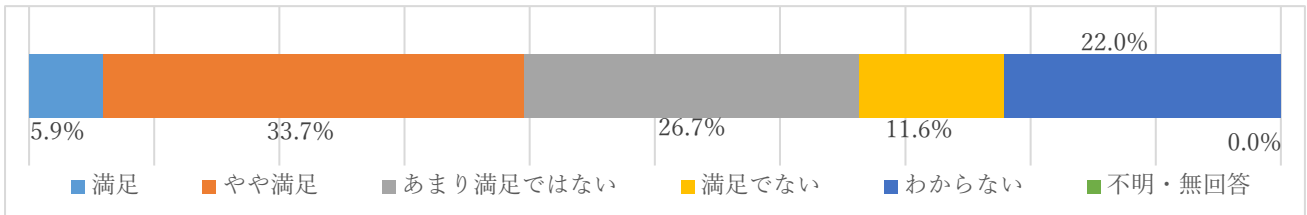
①移住定住の促進

取組：「橋本」らしさの戦略的な情報発信の推進、住宅支援や空き家の利活用など移住定住の促進 等



②市民に身近でわかりやすい広報

取組：広報紙・ホームページなど多様な媒体を使ったわかりやすい広報活動の充実、出前講座など市民からの意見聴取機会の充実 等

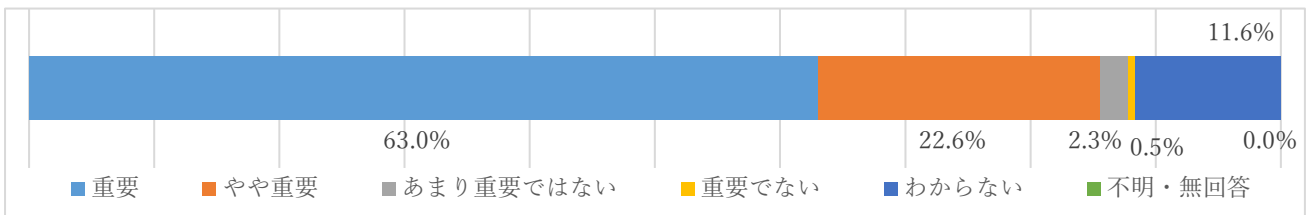
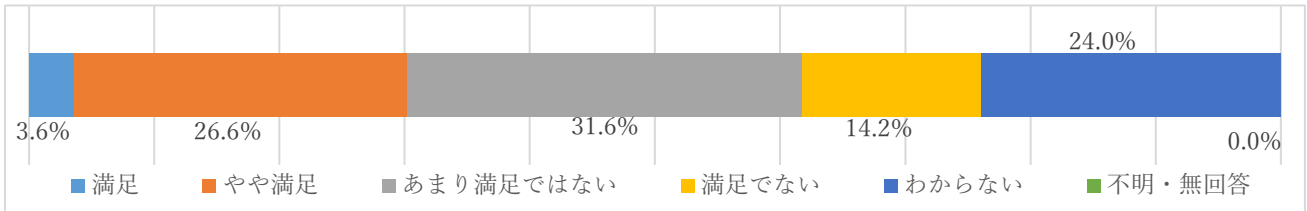


【ともに守る】

政策4 安全安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり

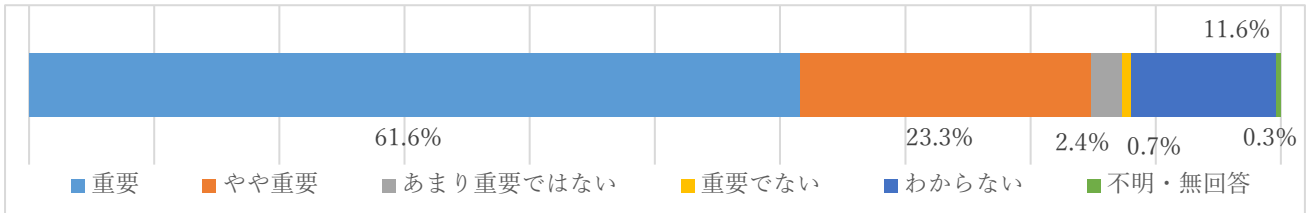
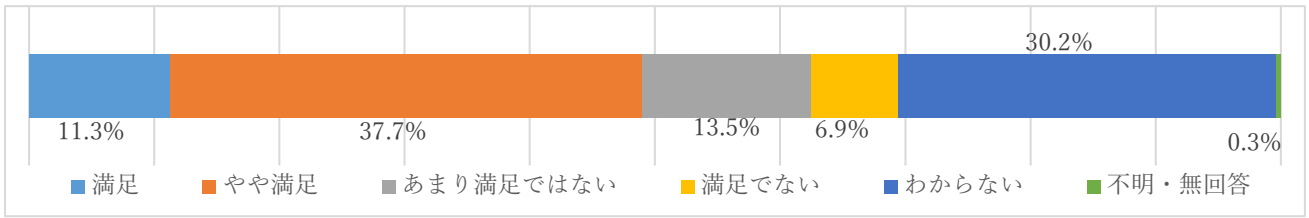
①危機管理・災害対策事業

取組：自主防災組織の育成と強化、風水害・土砂災害・地震等に対する備え、防災訓練の実施や救助・避難方法の確認など予防体制の整備 等



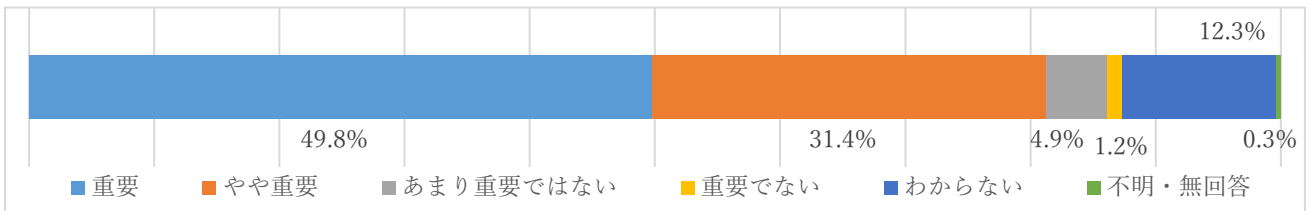
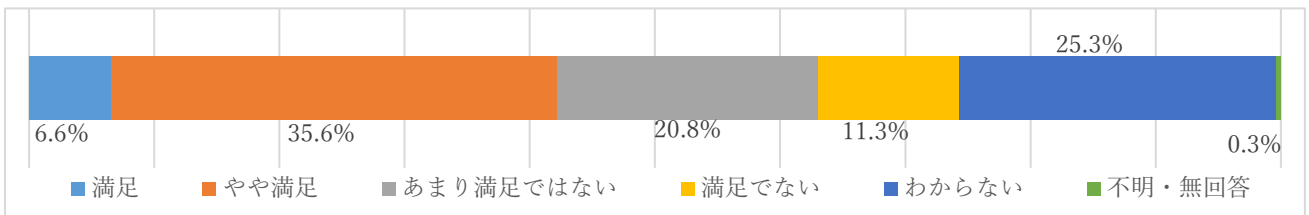
②消防・救急

取組：消防設備の計画的な更新整備、消防団活動への支援、救急救助体制の充実、消防用設備の点検、防火意識の向上 等



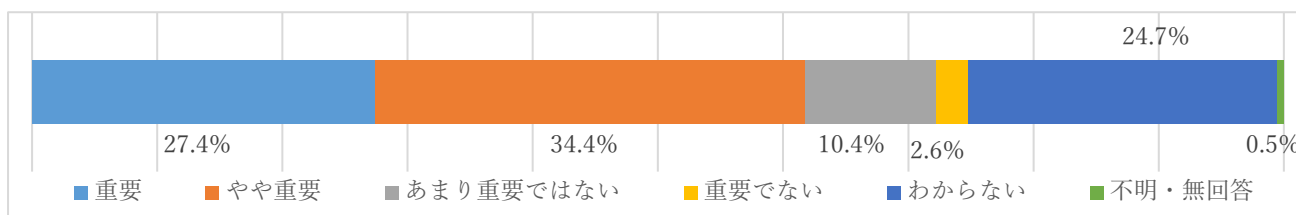
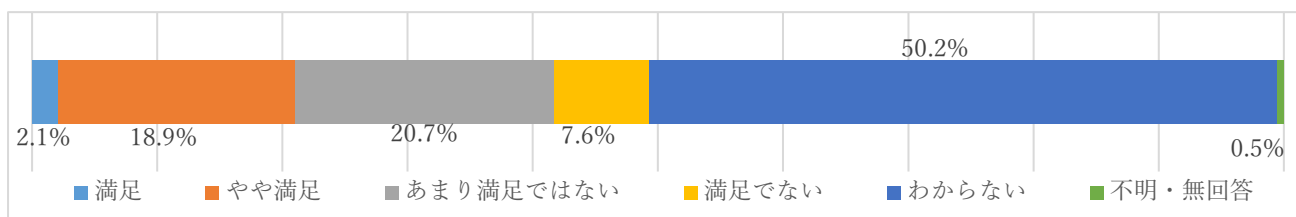
③交通安全・防犯

取組：交通安全運動の推進、街頭指導など交通安全の啓発、地域防犯活動への支援、イベント等での啓発活動の実施 等



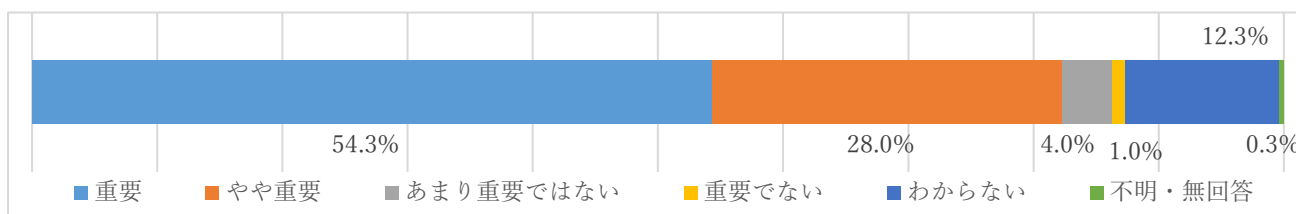
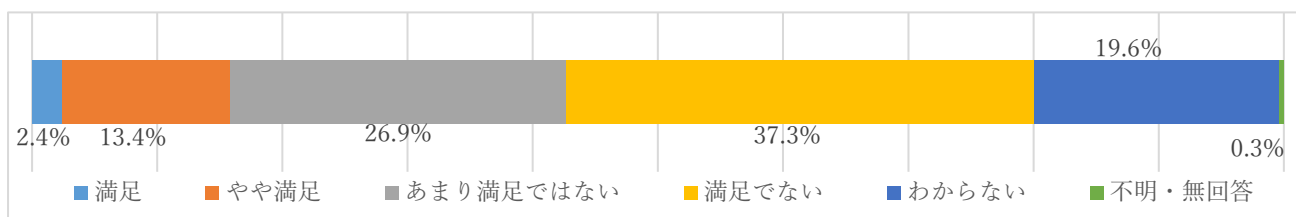
④消費者普及啓発、トラブル相談体制

取組：消費者問題の情報収集および情報発信、出前講座の実施、消費生活相談窓口の資質向上等



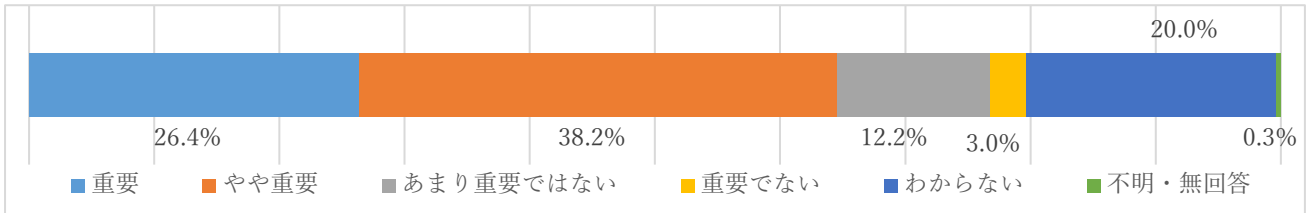
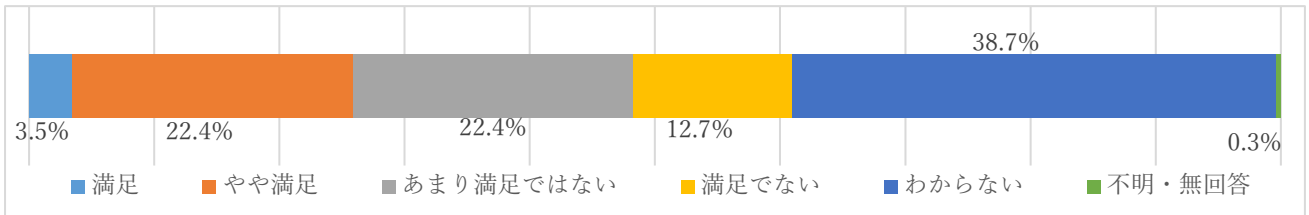
⑤地域公共交通

取組：コミュニティバスの利便性向上、鉄道・路線バスの乗り継ぎ拠点整備、利用しやすい公共交通環境づくり等



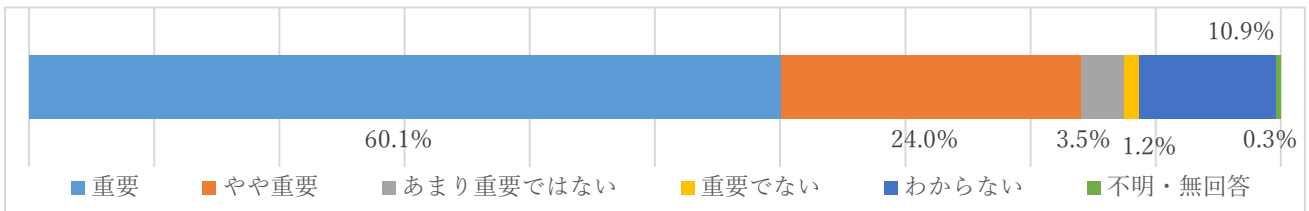
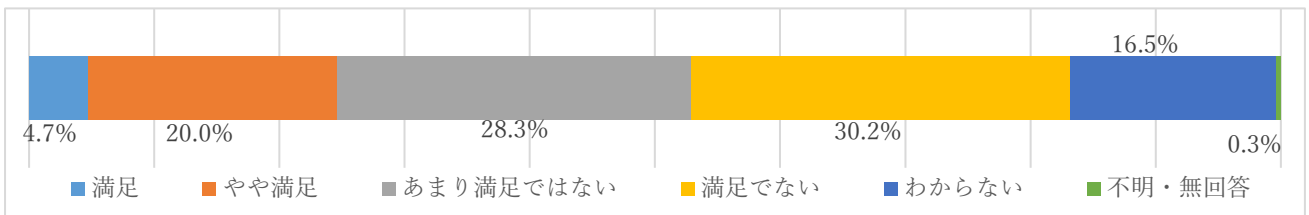
⑥計画的な土地利用、景観の保全

取組：広告物の規制・誘導や違反広告物の撤去、市街地や田園・緑の景観の保全、地籍調査の推進 等



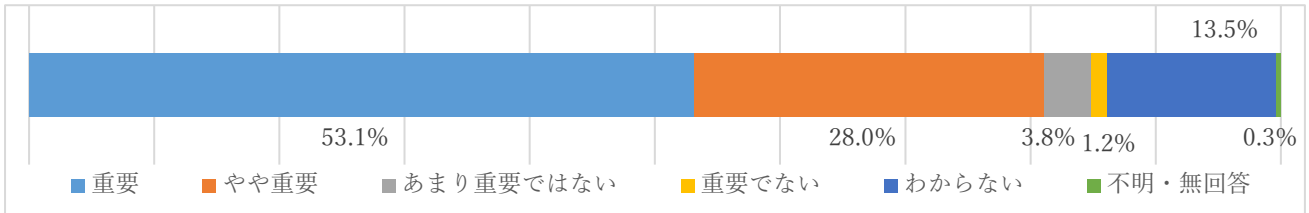
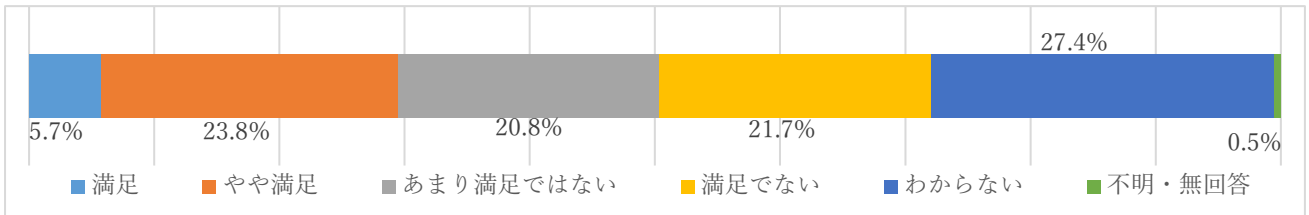
⑦道路の計画的な点検・修繕

取組：新紀見トンネルの早期開通、計画的な道路整備、舗装修繕や防護柵と設置、歩道や自転車道の整備 等



⑧上下水道の整備

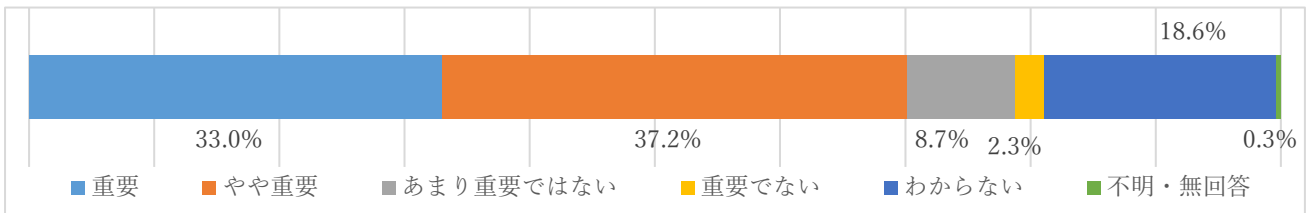
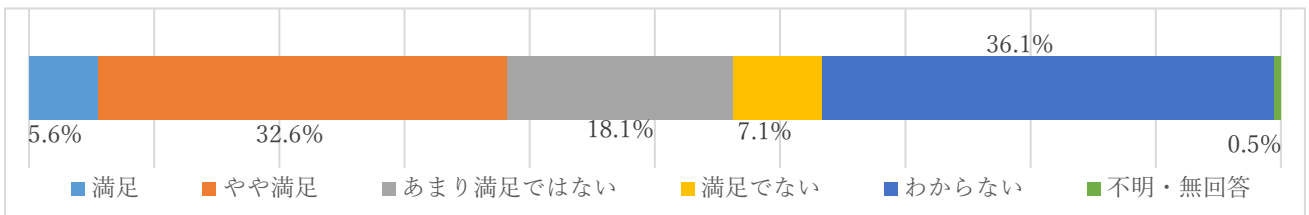
取組：施設規模の最適化及び耐震化の実施、公共下水道への早期接続促進、上・下水道事業の適切な維持管理 等



政策5 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり

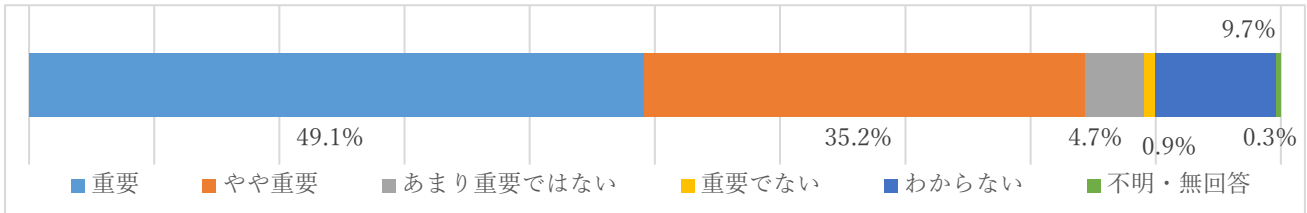
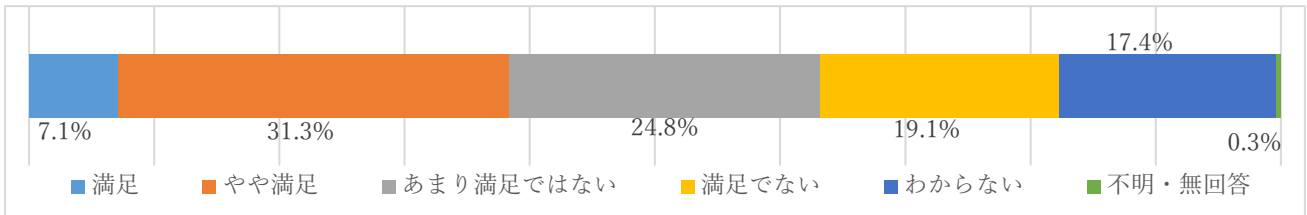
①自然環境保護の取組

取組：良好な自然環境の保全、環境学習や自然体験学習の推進、動植物の生息・生育環境の保全、自然公園の保全 等



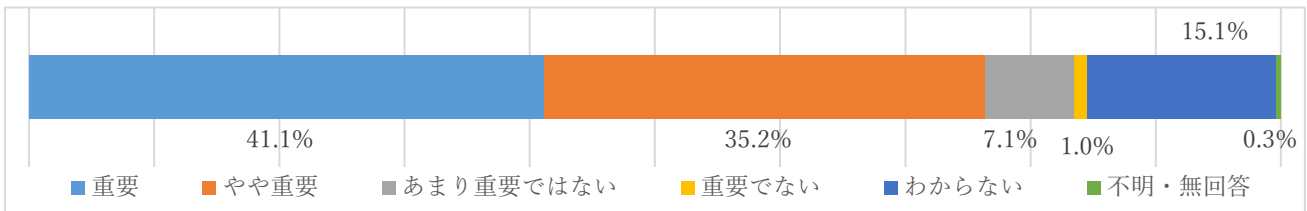
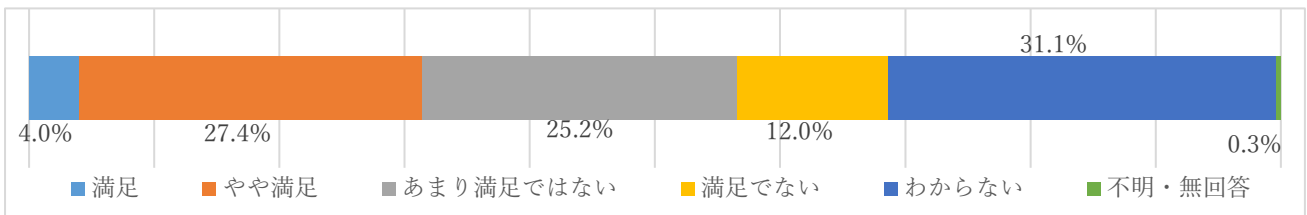
②ごみの減量・リサイクルの取組

取組：効率的で環境負担の少ないごみ収集体制、ごみ減量化と資源リサイクルの推進、高齢者などのごみ出し困難者への支援 等



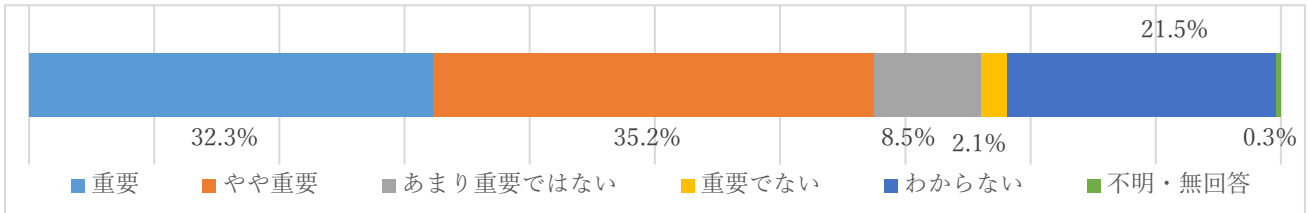
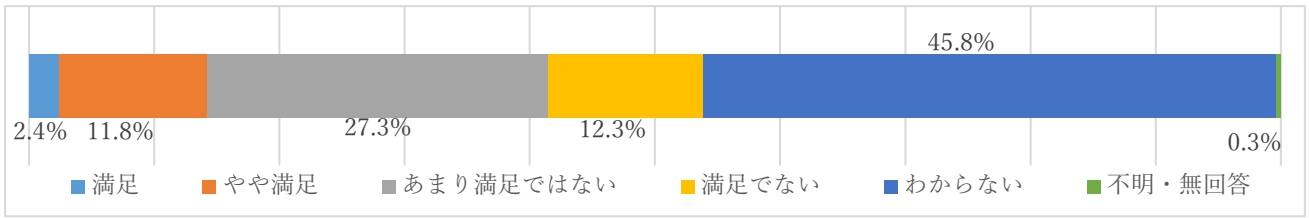
③生活環境汚染対策の推進

取組：騒音・振動・悪臭等への対策、生活排水・し尿・衛生対策等の充実、パトロールによる不法投棄の防止 等



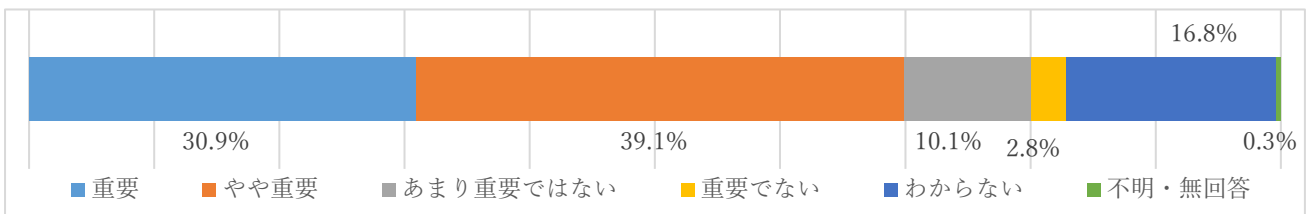
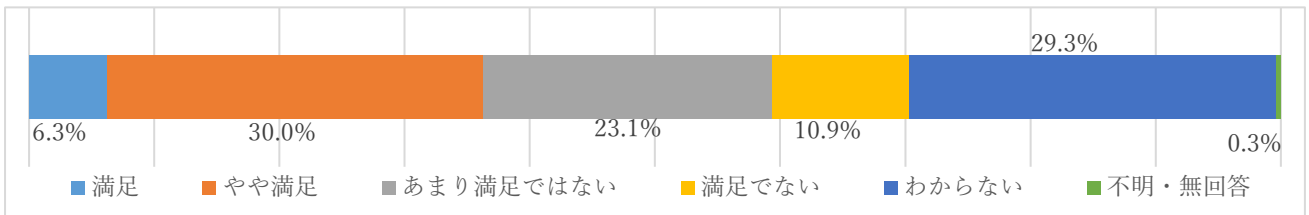
④住環境（耐震化促進、空家対策）

取組：市営住宅など公的賃貸住宅環境の整備、住宅耐震化のサポート、空き家所有者への指導・勧告 等



⑤公園・緑地の維持管理

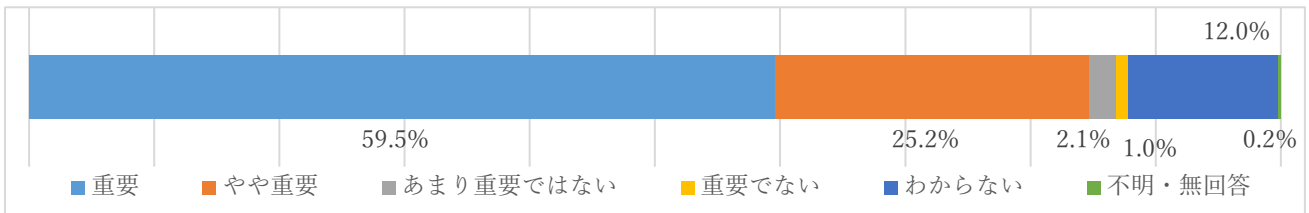
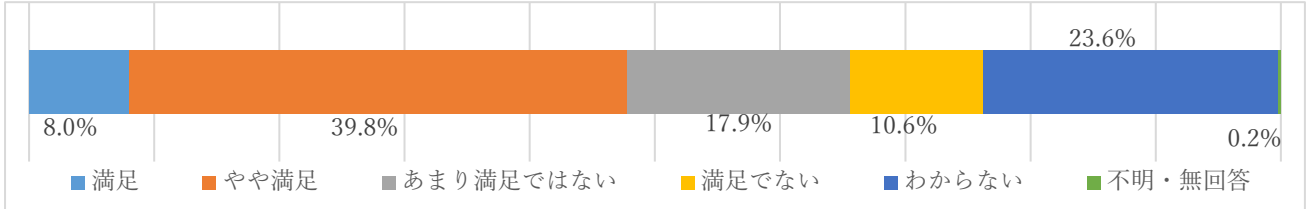
取組：公園の維持補修（遊具などの更新）、水と緑のネットワークの形成・維持 等



政策6 住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

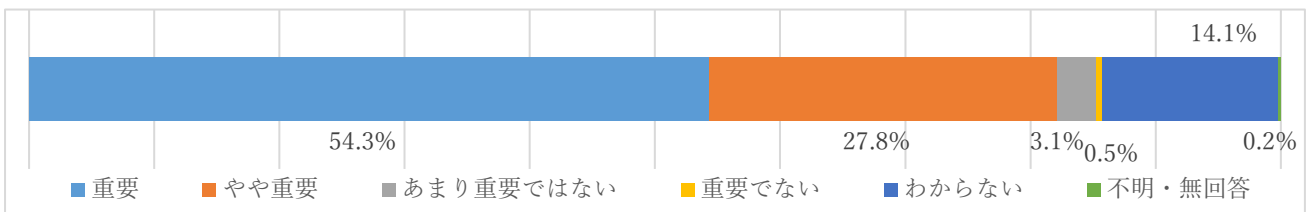
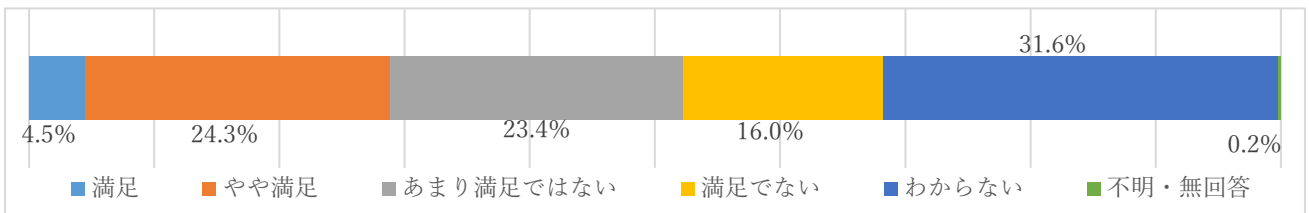
①健康づくり支援と医療体制

取組：健康づくりの支援体制の充実、がんや生活習慣病等の早期発見・早期治療の促進、不妊治療費助成や予防接種事業など母子保健の充実、緊急時の救急医療体制の充実 等



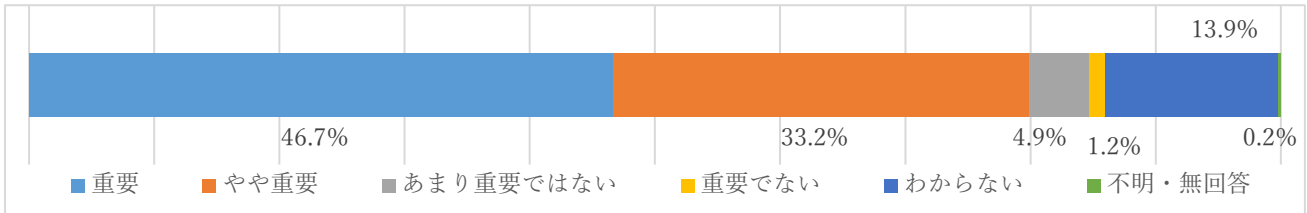
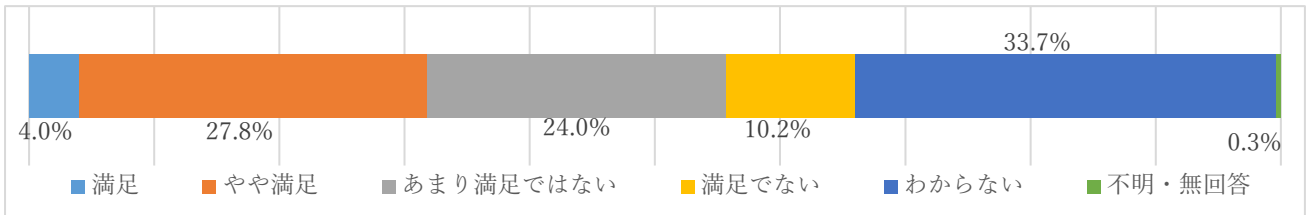
②社会保障制度の適正な運用

取組：国民健康保険制度や国民年金制度等の周知啓発と適正な運用、介護保険制度の適正な運用、就労支援など生活困窮者の自立の促進 等



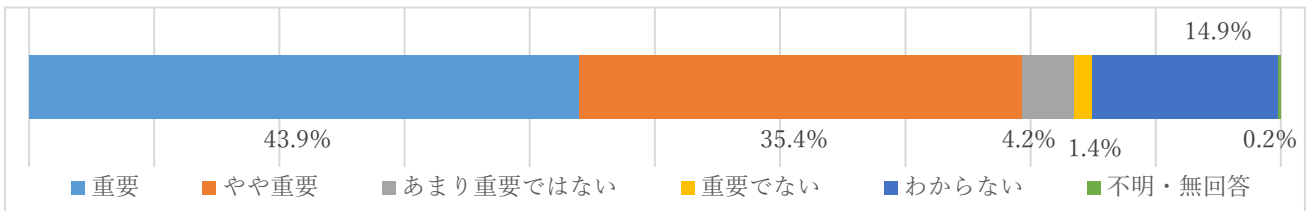
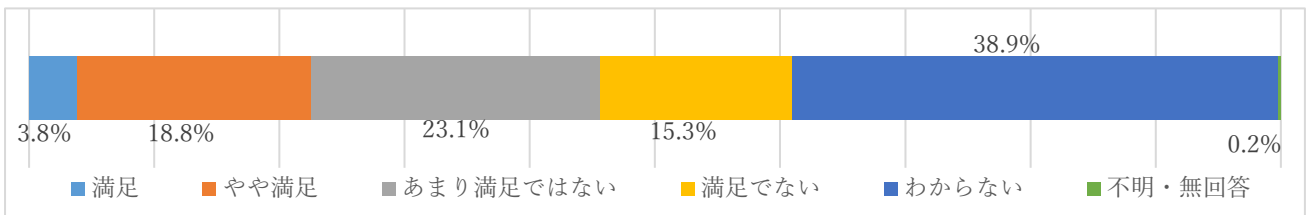
③地域における支え合いの仕組み

取組：高齢者・子育て世帯への見守り活動支援、地域福祉団体等への支援と連携、高齢者や障がい者・子どもの権利擁護 等



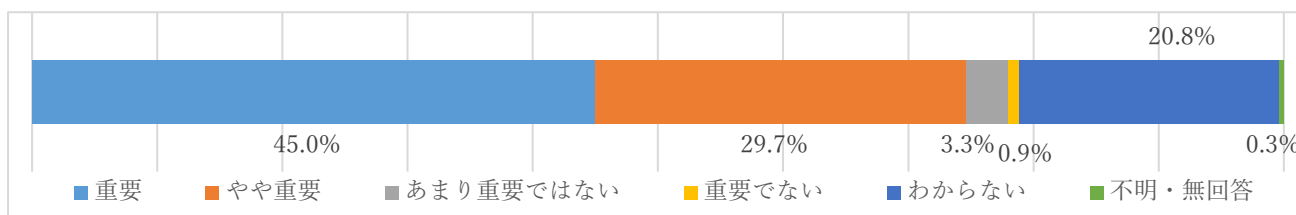
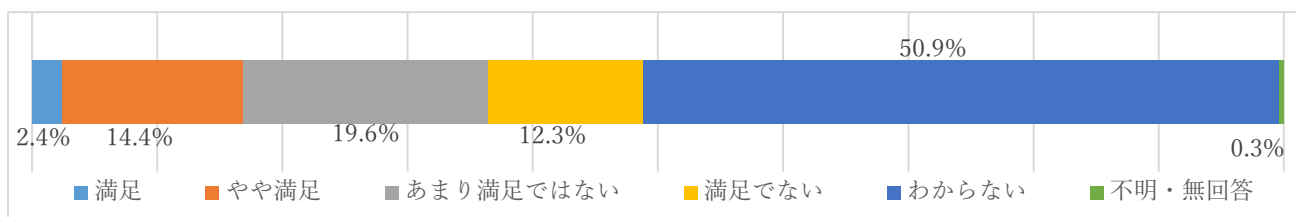
④高齢者にとっての暮らしやすさ

取組：買い物や外出支援など生活支援体制の整備、ふれあいサロン・老人クラブなど地域住民主体の取組みの推進 等



⑤障がい者にとっての暮らしやすさ

取組：障がい福祉サービスや成年後見制度の利用促進、地域での生活支援の充実、障がいに関する正しい理解の周知啓発活動

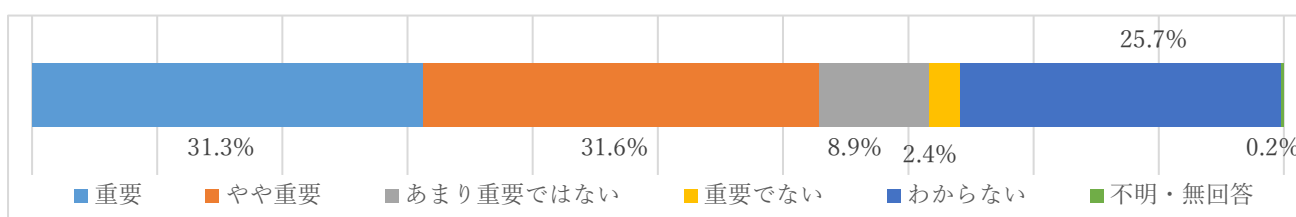
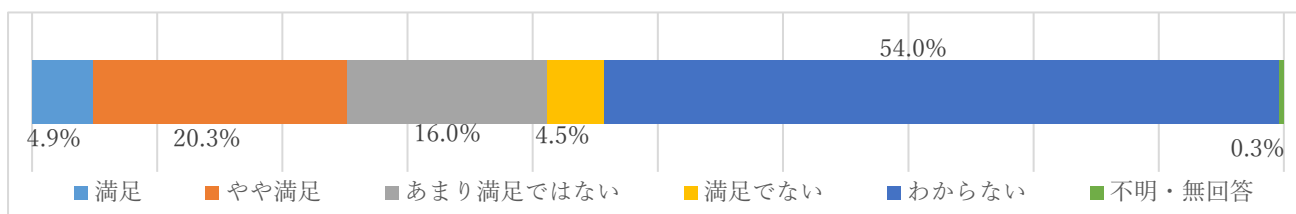


【ともに育てる】

政策7 一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり

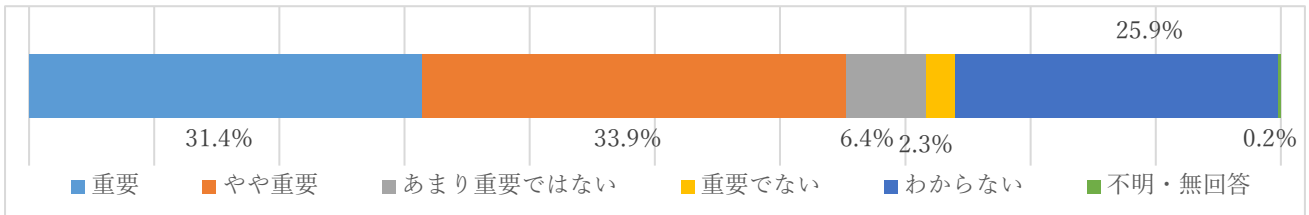
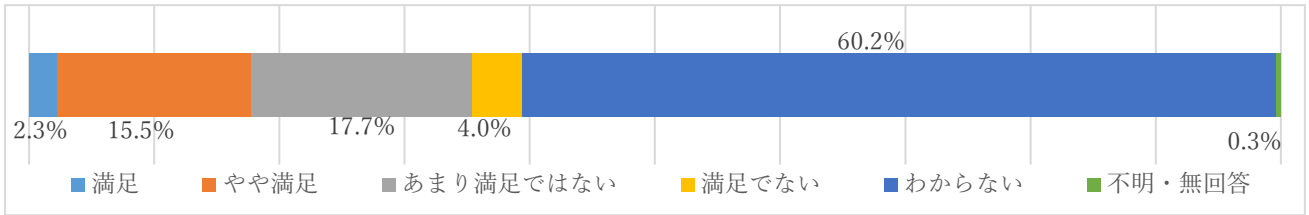
①人権尊重と平和学習の推進

取組：人権侵害の予防と早期発見・相談・支援活動の充実、人権教育と平和学習活動の推進、充実した研修による職員の意識・実践力の向上 等



②男女共同参画の推進

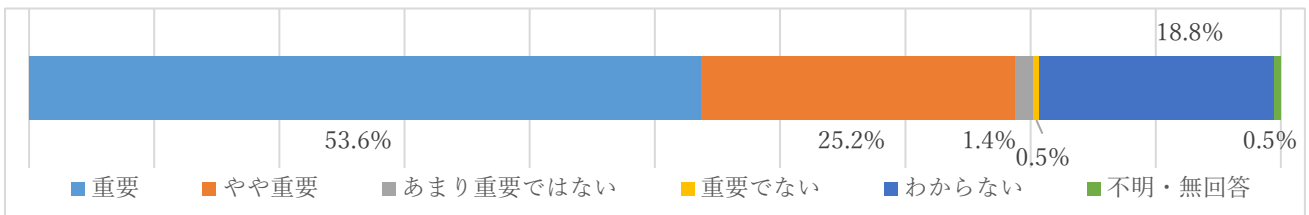
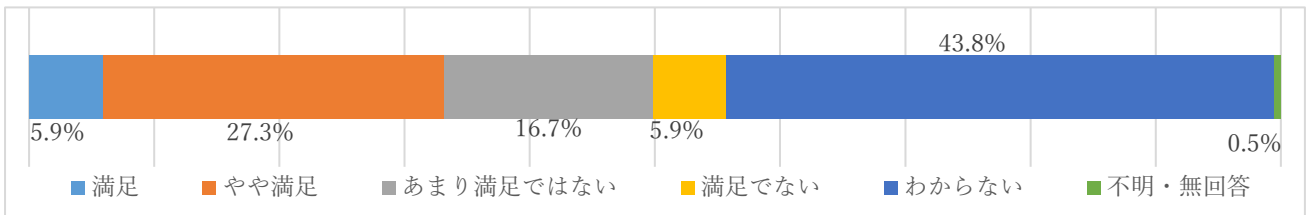
取組：ワーク・ライフ・バランス推進、DV被害者の早期発見・安全確保に向けた支援 等



政策8 妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

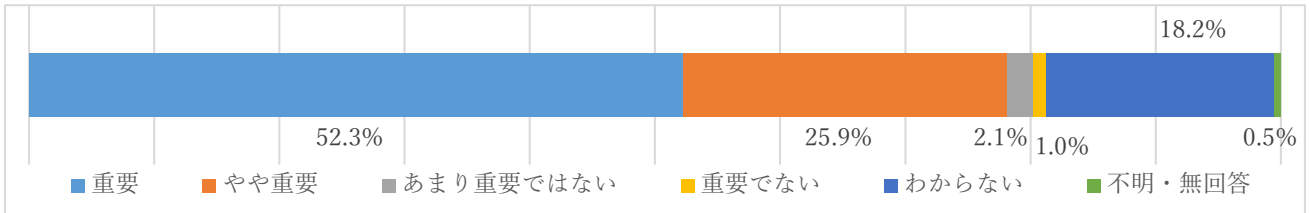
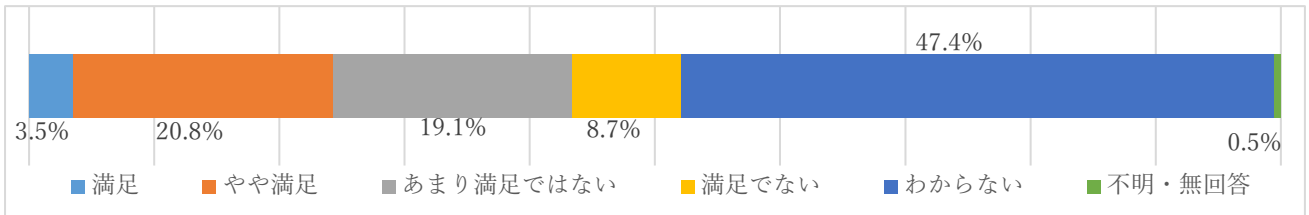
①妊娠・出産・育児環境

取組：産前産後から子育てに関する相談支援など子育て支援サービスの充実、子育て支援センターや認定こども園など保育サービスの充実 等



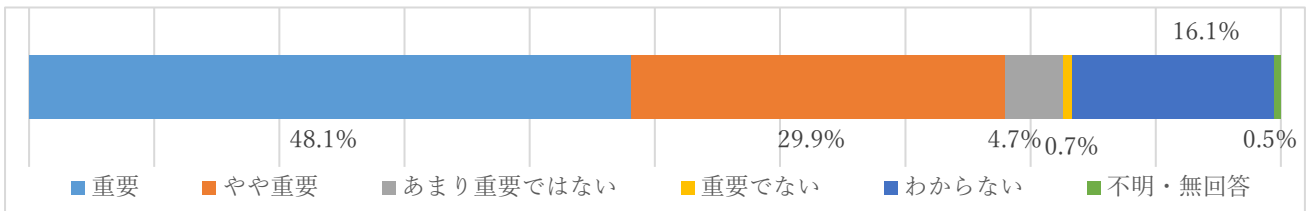
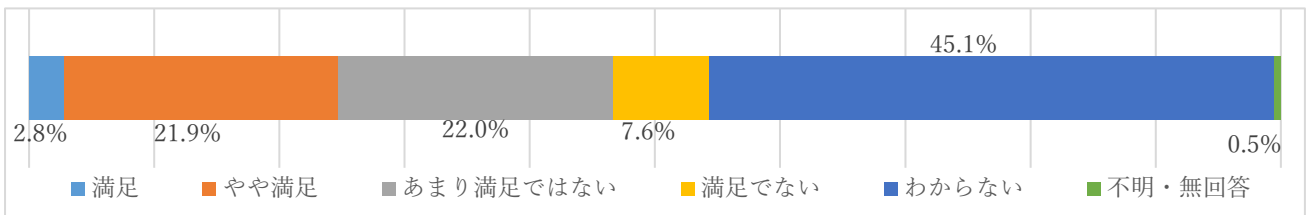
②子ども家庭支援

取組：悩みを抱える子育て家庭の総合的な支援、手当や助成制度による子育て家庭の経済的負担の軽減 等



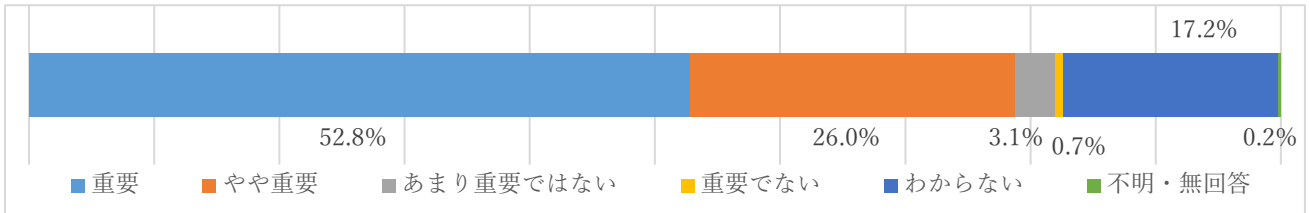
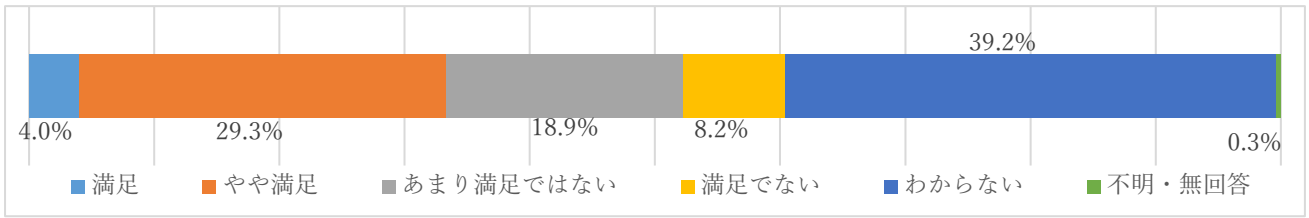
③地域・家庭・学校・行政の連携

取組：学校と地域の連携による共育コミュニティの推進、家庭以外の子どもの居場所づくりの促進 等



④安全・安心な学校教育環境

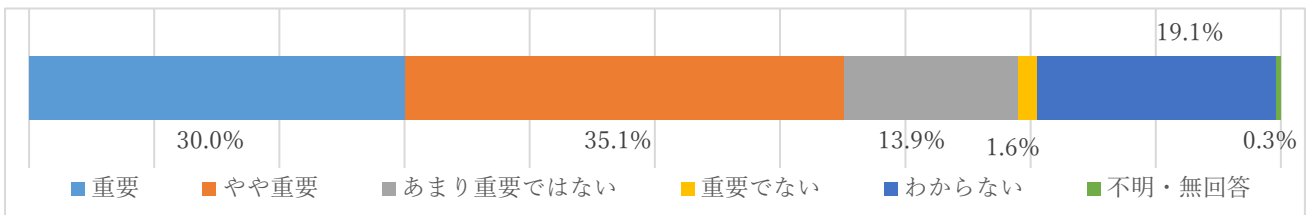
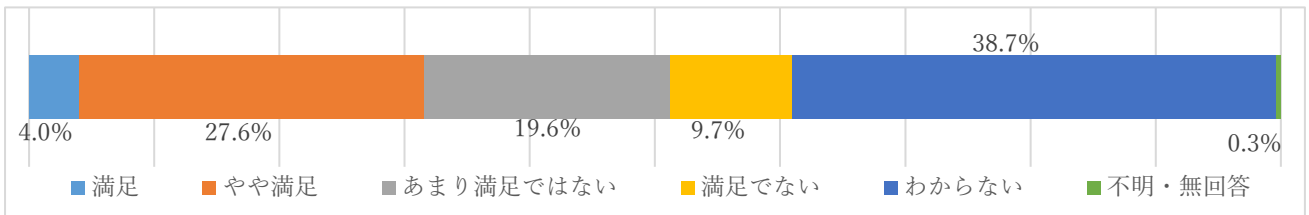
取組：学校施設や通学路など安全な教育環境の確保、幼児保育・教育や特別支援教育・ふりさと教育の充実 等



政策9 生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

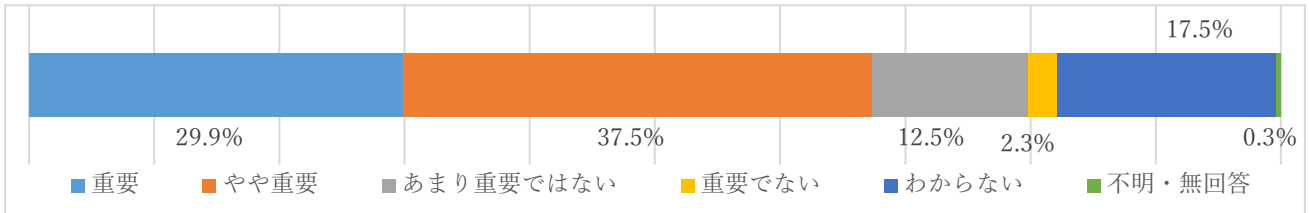
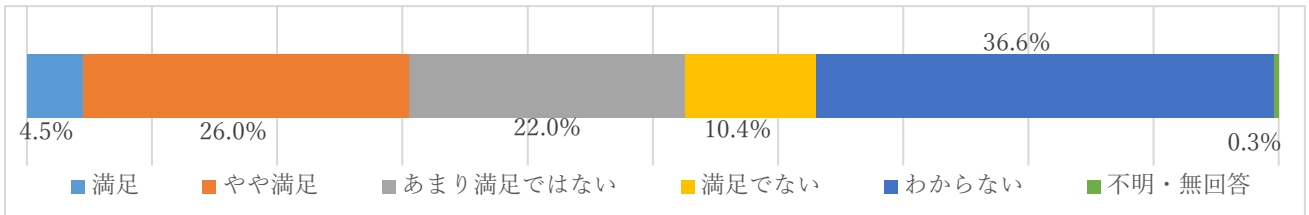
①生涯学習の推進

取組：生涯学習事業の充実や情報発信・発表機会の提供、図書館機能や公民館活動の充実 等



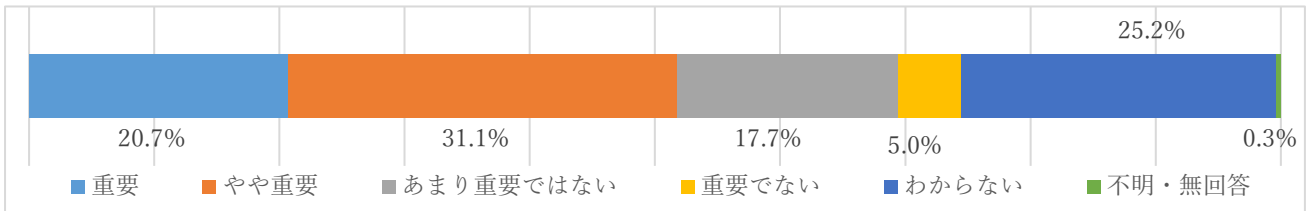
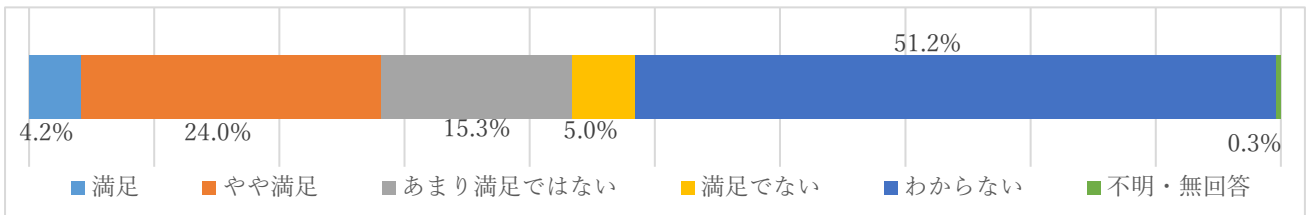
②スポーツ施設、活動の振興

取組：生涯スポーツを通じた健康づくりの推進、設備の点検などスポーツ施設の充実、スポーツイベントや教室の充実 等



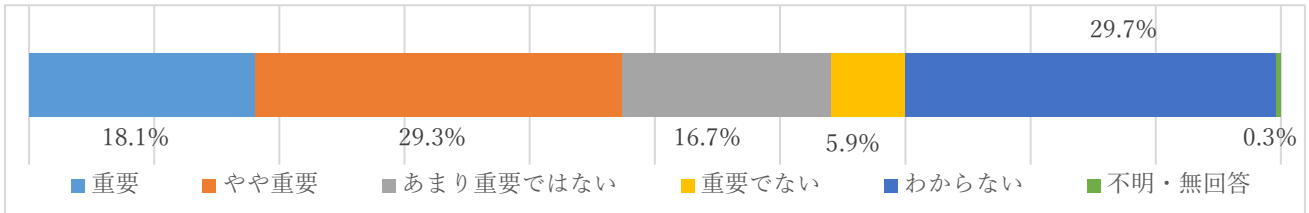
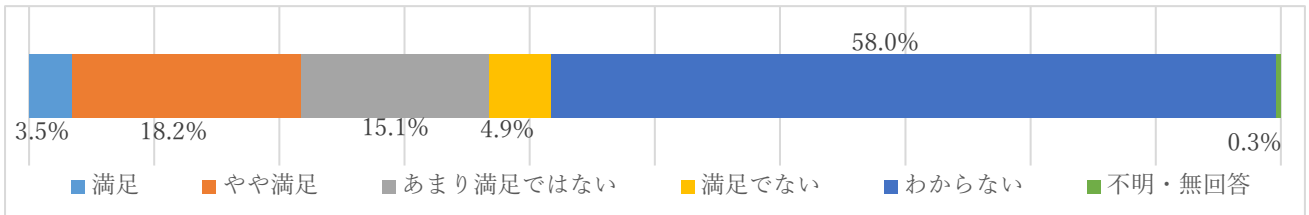
③歴史文化遺産の保全と活用

取組：黒河道の保全・活用の推進、文化財・歴史景観の保全・活用の推進・名誉市民の顕彰 等



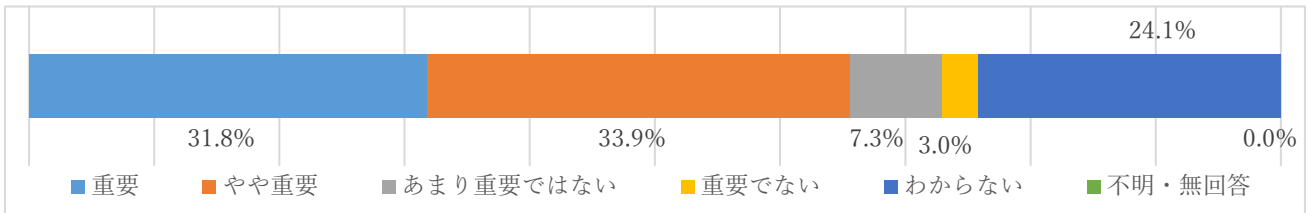
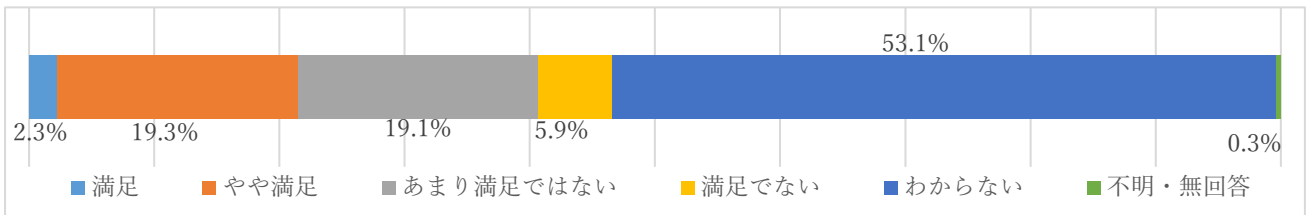
④文化芸術活動、国際交流の推進

取組：文化芸術活動の鑑賞機会の充実、文化芸術活動への支援、友好都市や姉妹都市との国際交流の推進 等



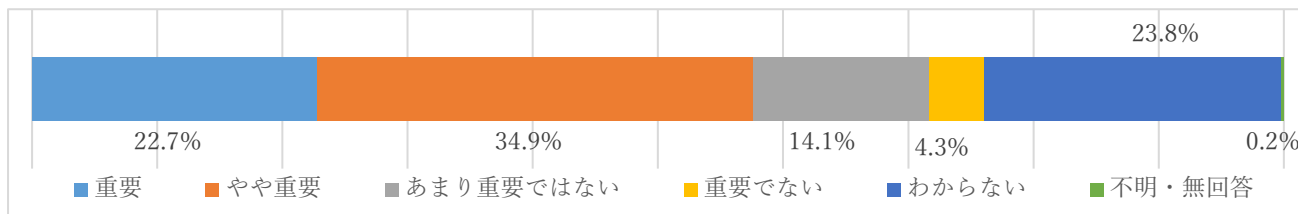
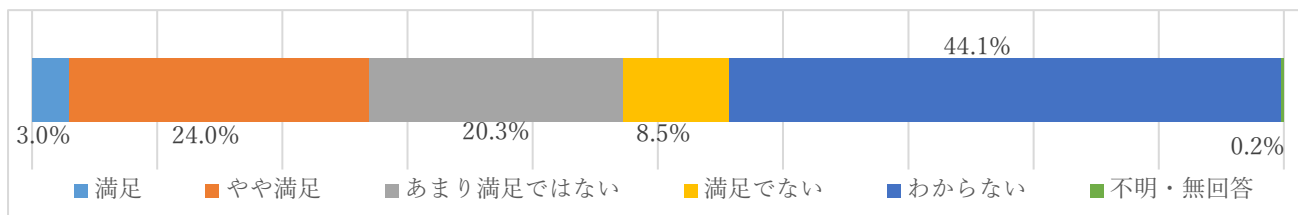
⑤青少年健全育成

取組：青少年の健全育成活動の充実・交流の促進、万引き防止、マナーアップ等啓発の充実 等



⑥地域コミュニティ・協働のまちづくり推進

取組：自治会への加入促進など地域コミュニティの活性、市民やボランティア団体・NPO等の活動への支援 等



● 散布図による分析

満足度と重要度の選択肢それぞれに5点から1点を設定し、37の施策項目について、ポイントを求め以下のとおり散布図に表しました。

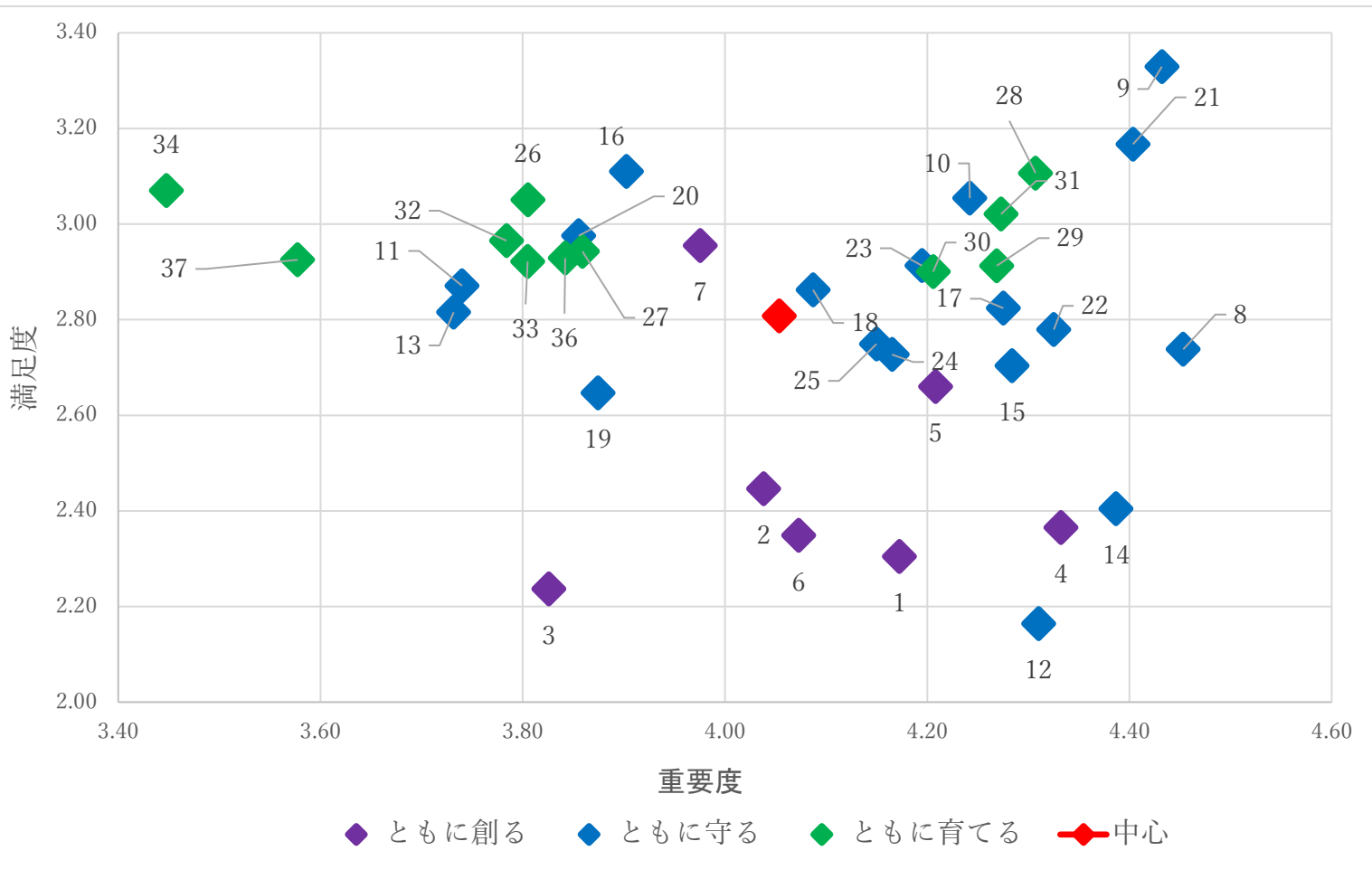
今回の調査においては、満足度・重要度ともに高いものは「健康づくり支援と医療体制」「消防・救急」となっています。その一方で満足度・重要度ともに低いものでは「観光事業」が突出しています。

「ともに創る」(図中の■)については、ほとんどの施策の満足度が平均を下回っているため、重要度の高いものから優先的に改善の取組みを進めていく必要があります。

「ともに守る」(図中の◆)については、重要度が平均値を越えているものが多く、今後も継続して取組みを進めていく必要があります。しかし、「地域公共交通」や「道路の計画的な点検・修繕」については、重要度が高いが、満足度が低いため、優先的に改善の取組が必要であるといえます。

「ともに育てる」(図中の●)については、すべての項目で満足度が平均を超えています。一方、重要度ではバラつきがあり、「地域コミュニティ・協働のまちづくり推進」の重要度が低くなっていますが、今後のまちづくりに重要な施策であるので内容の見直しや改善が必要であるといえます。

※各施策と図に示した番号の対応は次ページを参照してください。



※散布図に表した番号の対応は以下のとおりです。

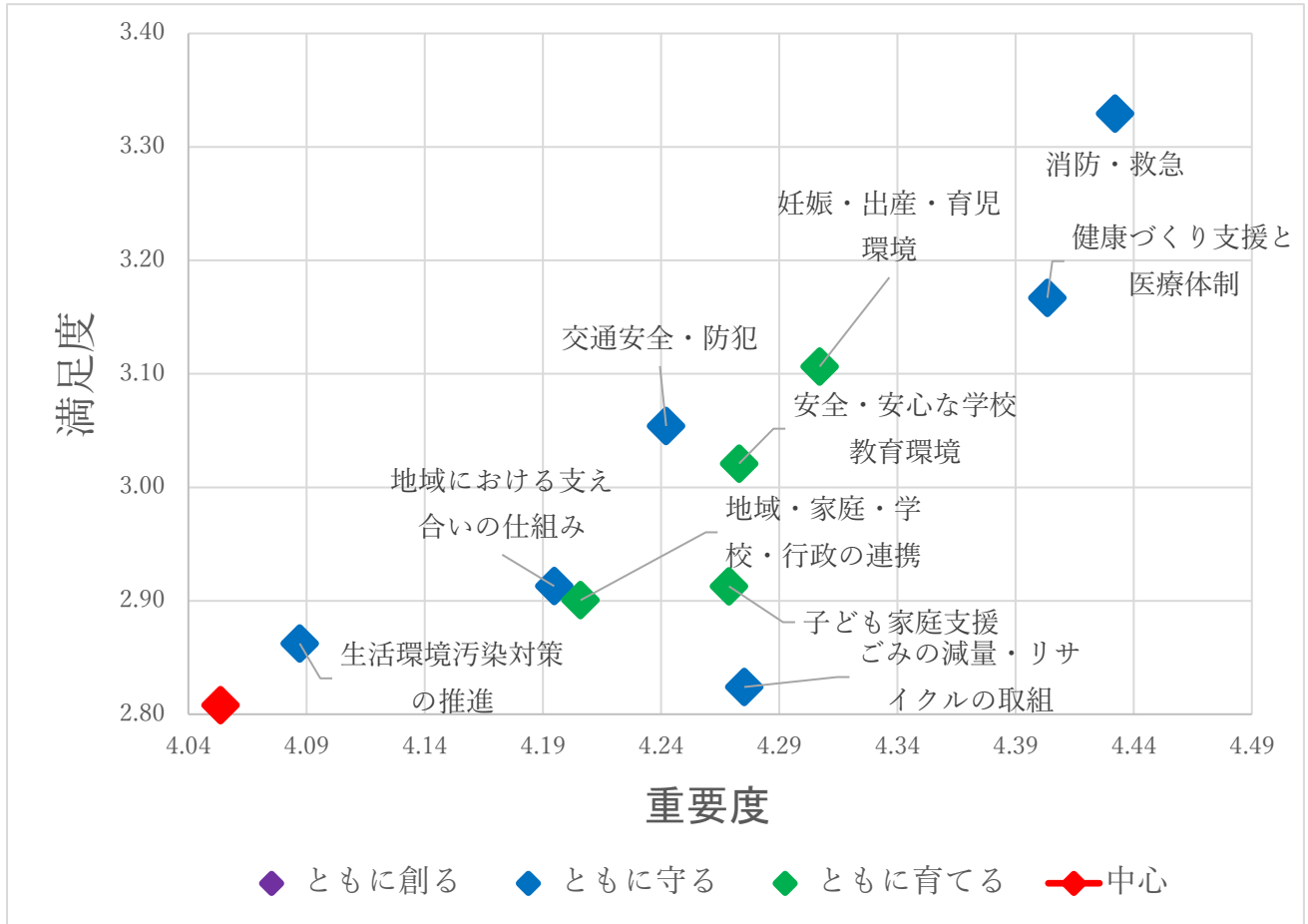
ともに創る	
1	商工業・地場産業
2	農林業の振興
3	観光事業
4	雇用、就労、労働環境の整備
5	企業誘致の促進
6	移住定住の促進
7	市民に身近でわかりやすい広報
ともに守る	
8	危機管理・災害対策事業
9	消防・救急
10	交通安全・防犯
11	消費者普及啓発、トラブル相談体制
12	地域公共交通
13	計画的な土地利用、景観の保全
14	道路の計画的な点検・修繕
15	上下水道の整備
16	自然環境保護の取組
17	ごみの減量・リサイクルの取組
18	生活環境汚染対策の推進

19	住環境（耐震化促進、空家対策）
20	公園・緑地の維持管理
21	健康づくり支援と医療体制
22	社会保障制度の適正な運用
23	地域における支え合いの仕組み
24	高齢者にとっての暮らしやすさ
25	障がい者にとっての暮らしやすさ
ともに育てる	
26	人権尊重と平和学習の推進
27	男女共同参画の推進
28	妊娠・出産・育児環境
29	子ども家庭支援
30	地域・家庭・学校・行政の連携
31	安全・安心な学校教育環境
32	生涯学習の推進
33	スポーツ施設、活動の振興
34	歴史文化遺産の保全と活用
35	文化芸術活動、国際交流の推進
36	青少年健全育成
37	地域コミュニティ・協働のまちづくり推進

満足度の平均値と重要度の平均値を基に4つのエリアに分けると次の通りとなります。

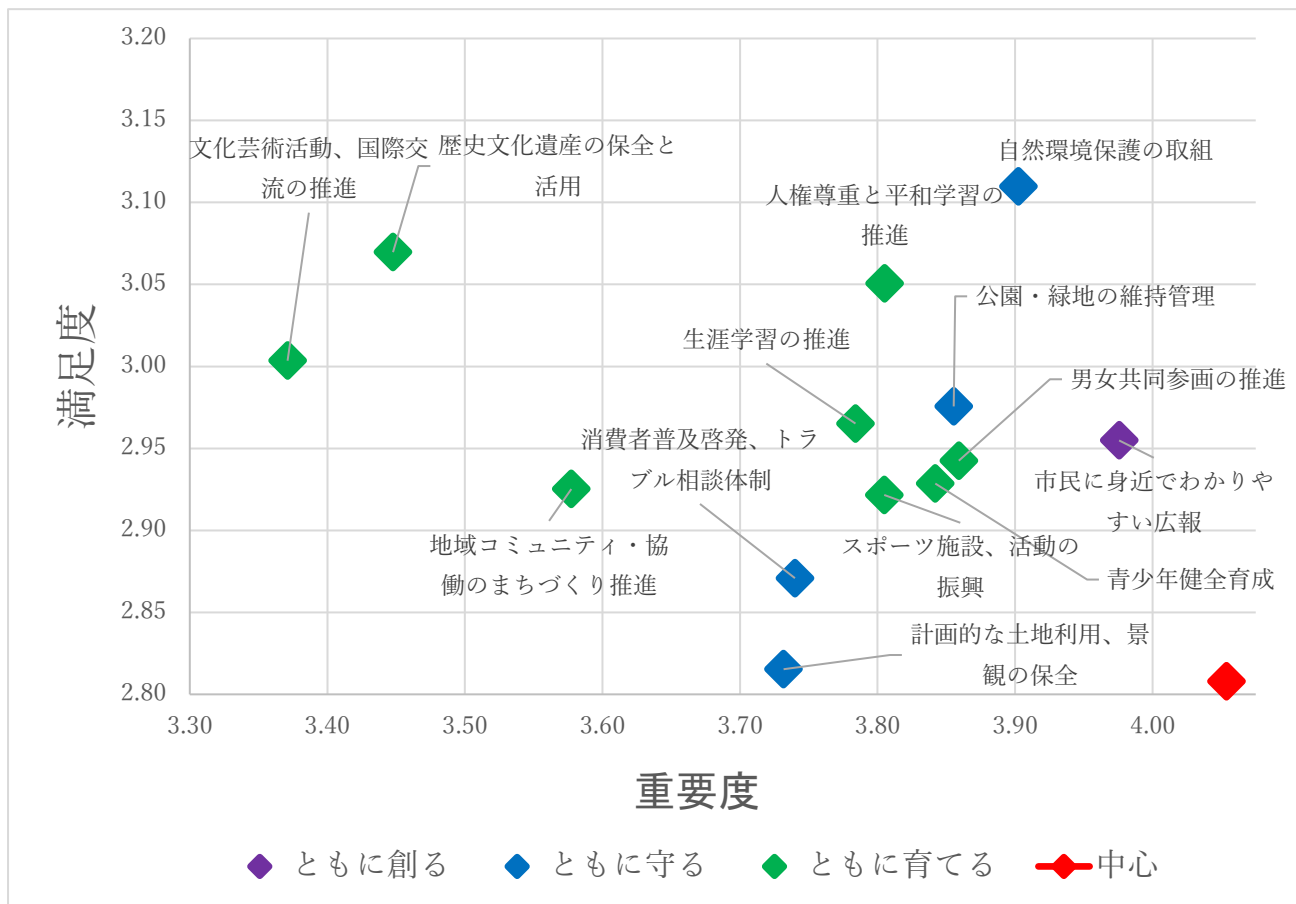
I：継続推進

満足度、重要度ともに平均よりも高くなっているエリア。引き続き、満足度に対する高い評価が得られる取組みの継続実施が必要であるといえます。



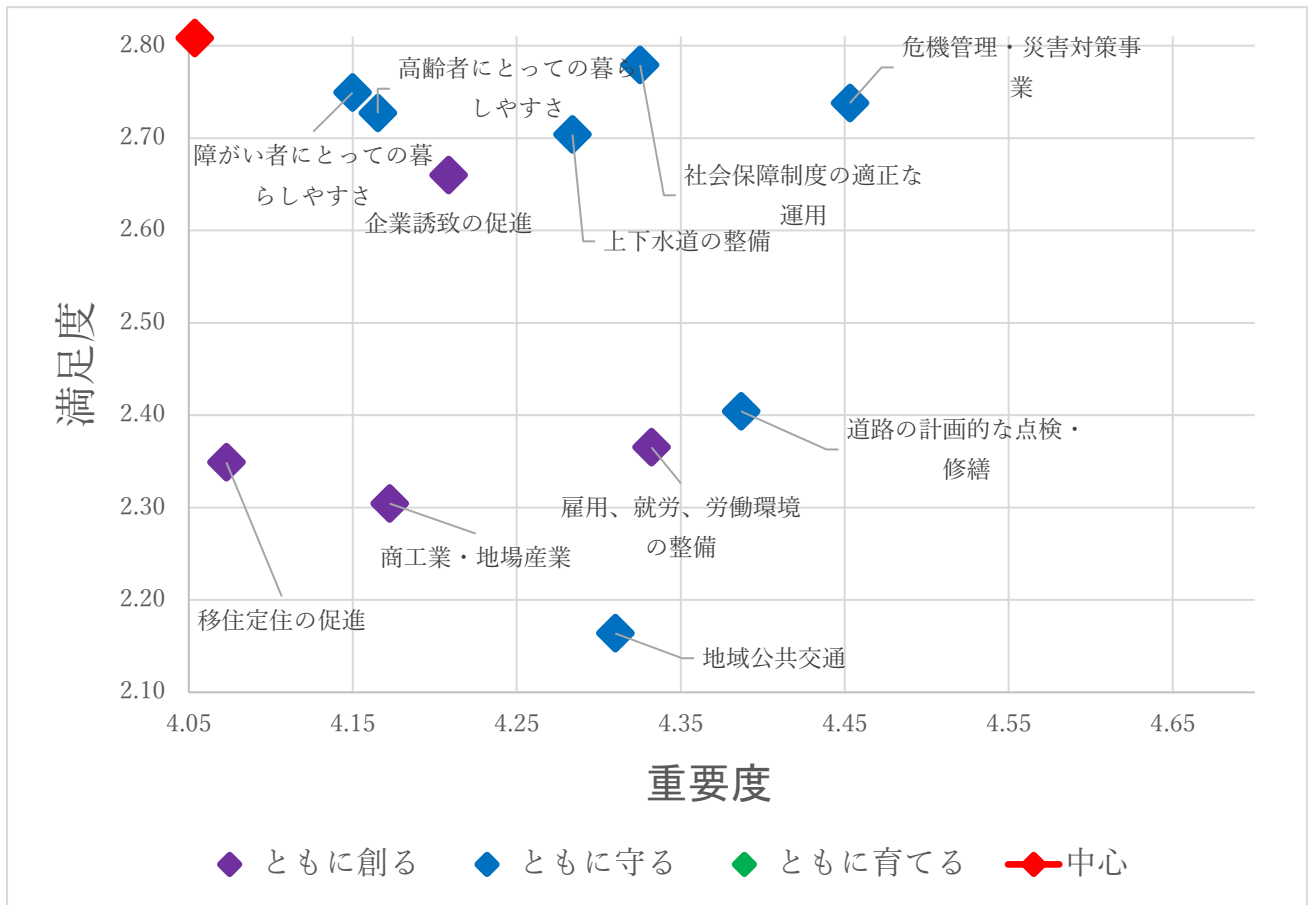
II：要検討

満足度は平均より高いが、重要度は平均より低くなっているエリア。満足度への評価を維持しつつも、他の施策よりも重要度は低いため、内容によっては見直し検討が必要であるといえます。



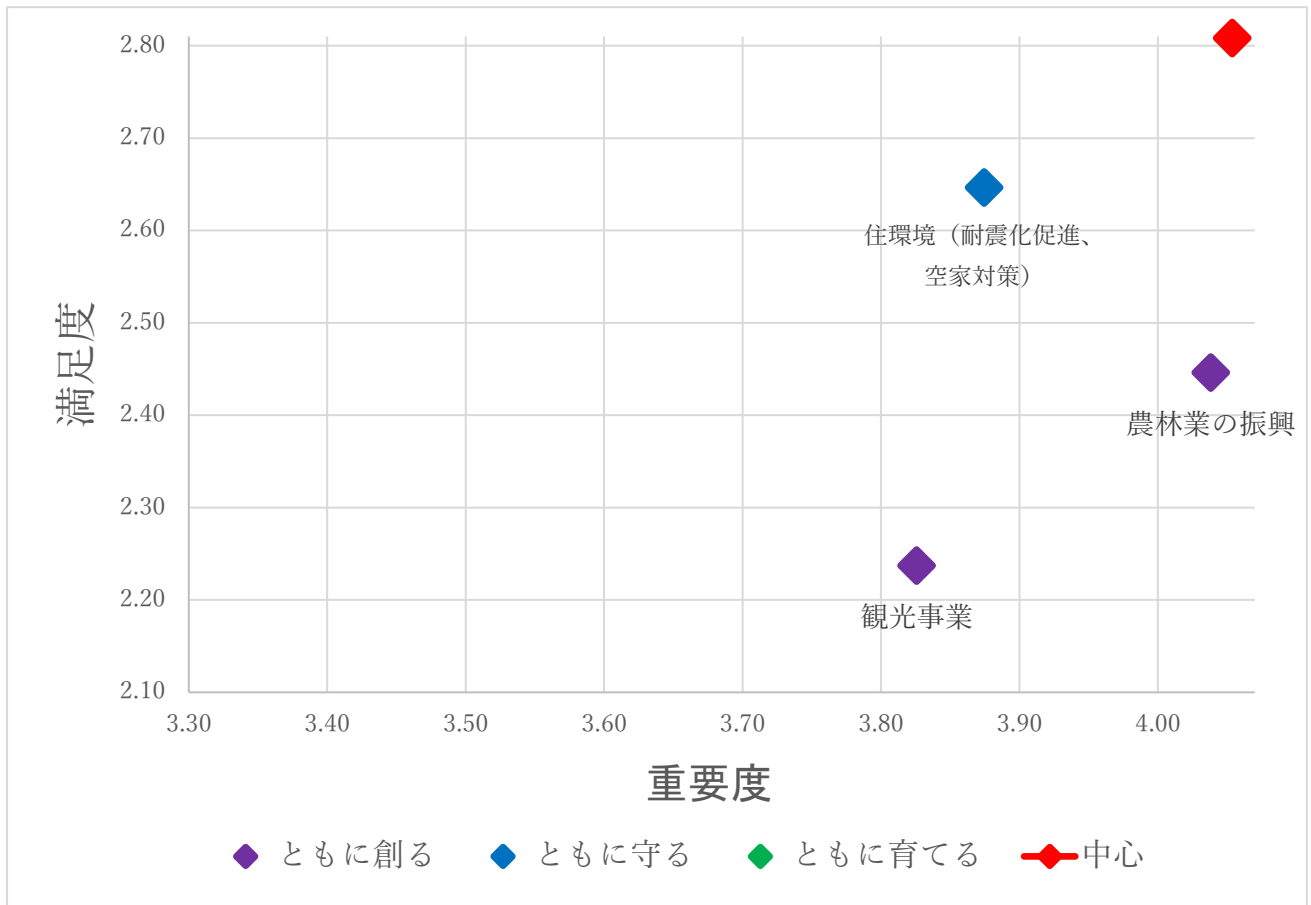
Ⅲ：重要課題

満足度が平均より低くなっているが、重要度が高いエリア。最も改善が期待されている項目であるといえます。



IV：課題

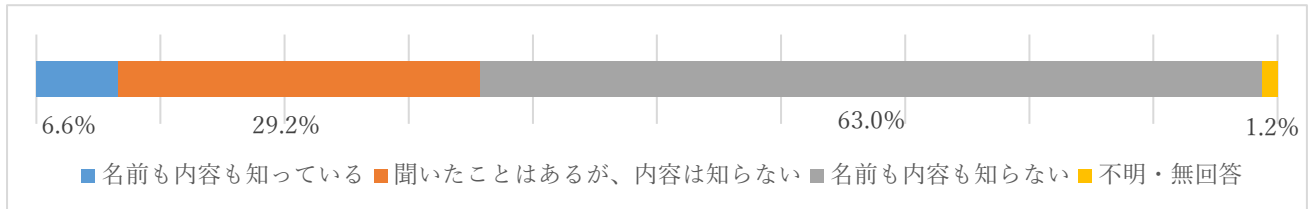
満足度、重要度ともに平均より低いエリア。優先度は低いが、改善が期待されている項目であるため、必要に応じた見直しが求められています。



オ 協働のまちづくりについて

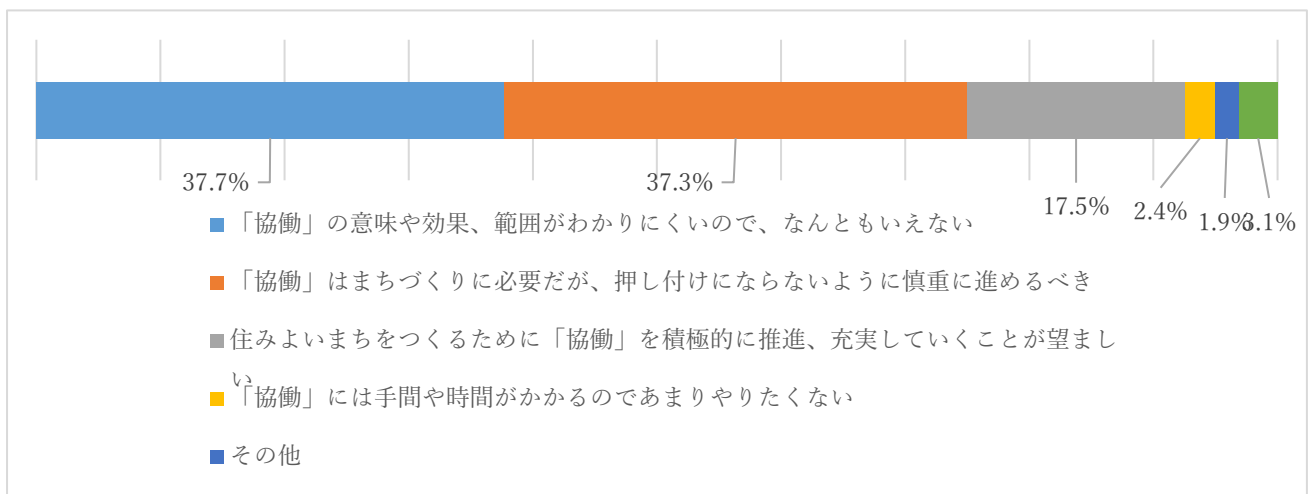
問20 「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」について知っていますか。

「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」については、「名前も内容も知らない」が63%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が29.2%、「名前も内容も知っている」が6.6%となっています。



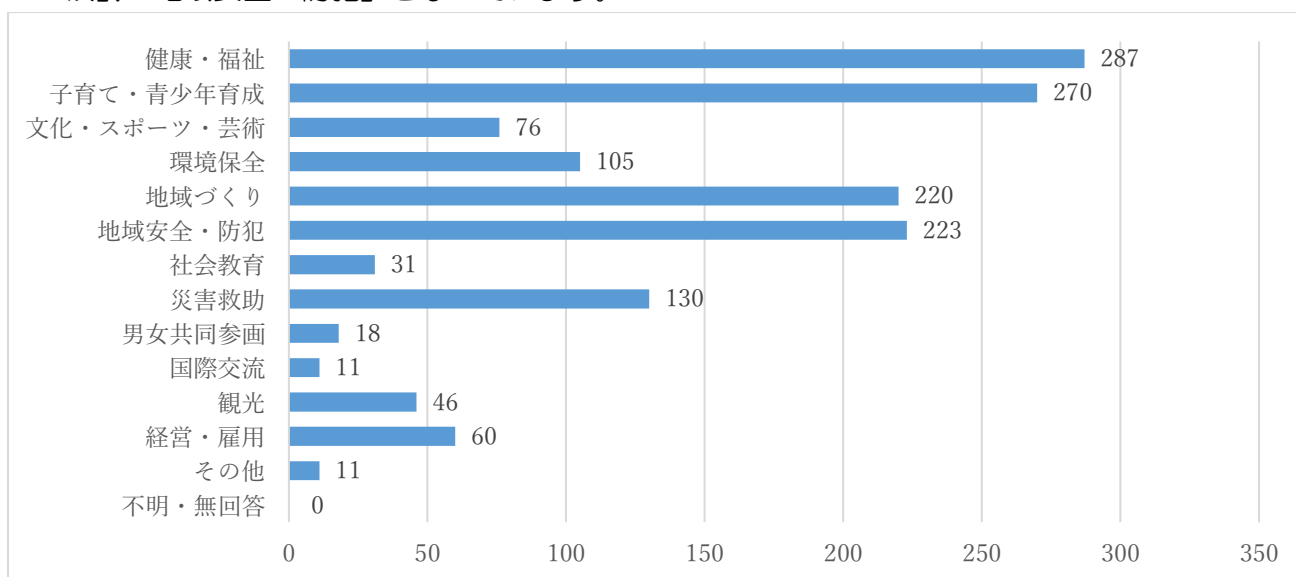
問21 あなたは、協働のまちづくりについてどう思いますか。

協働のまちづくりについては、『協働』の意味や効果、範囲がわかりにくいので、何ともいえないが37.7%と最も高く、次いで『協働』はまちづくりに必要だが、押し付けにならないように慎重に進めるべきが37.3%、「住みよいまちをつくるために『協働』を積極的に推進、充実していくことが望ましい」が17.5%となっています。



問22 協働で特に取り組むべき分野はどれだと思いますか。

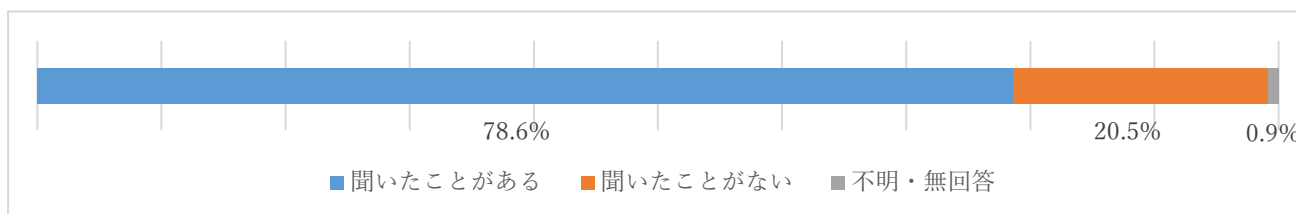
協働で特に取り組むべき分野については「健康・福祉」が最も高く、次いで「子育て・青少年育成」、「地域安全・防犯」となっています。



カ SDGsについて

問23 SDGsの言葉を聞いたことがありますか。

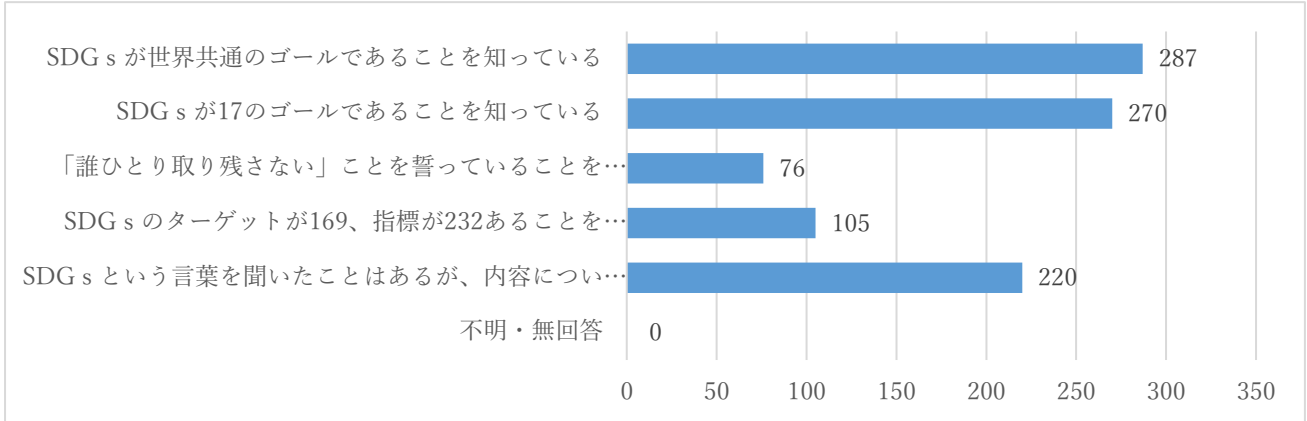
SDGsの言葉については、「聞いたことがある」が78.6%と最も高く、次いで「聞いたことがない」が20.5%、「名前も内容も知っている」が6.6%となっています。



問24 次の5つから、当てはまるものを選んでください。

(問23で「聞いたことがある」を選んだ方が対象)

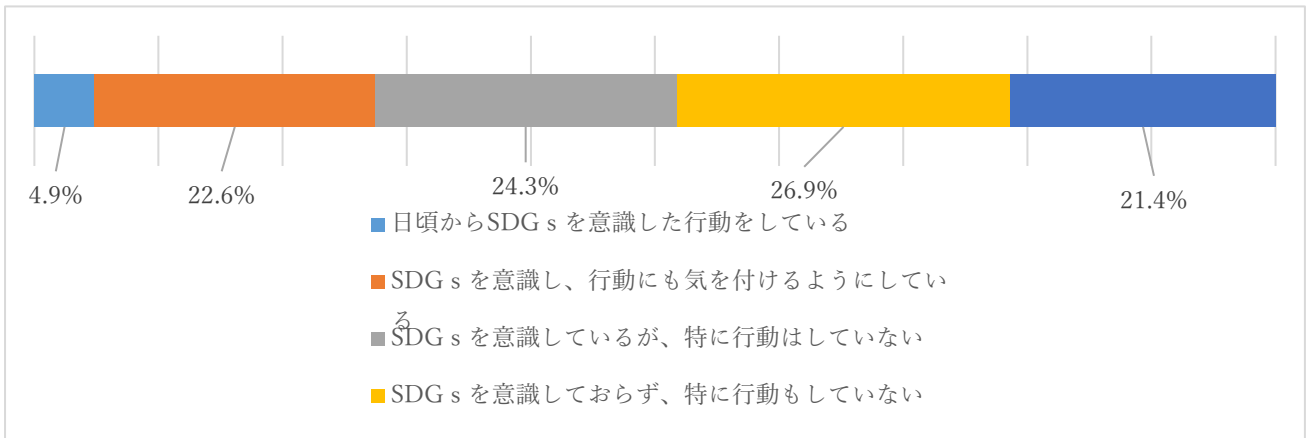
SDGsの内容については、「SDGsが世界共通のゴールであることを知っている」が最も高く、次いで「SDGsが17のゴールであることを知っている」となっています。



問25 SDGsに関して、あなたの行動状況を教えてください。

(問23で「聞いたことがある」を選んだ方が対象)

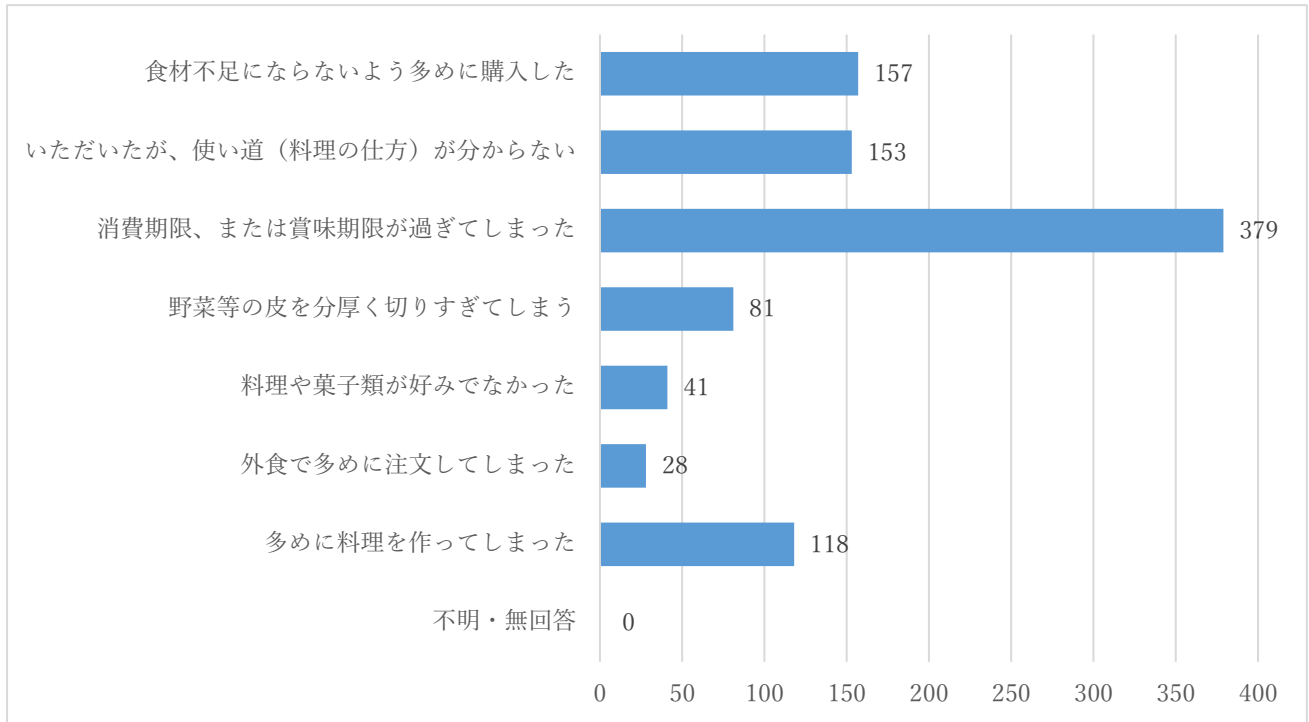
SDGsに関して、あなたの行動状況については、「SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない」が26.9%と最も高く、次いで「SDGsを意識しているが、特に行動もしていない」が24.3%となっています。



キ 食品ロスについて

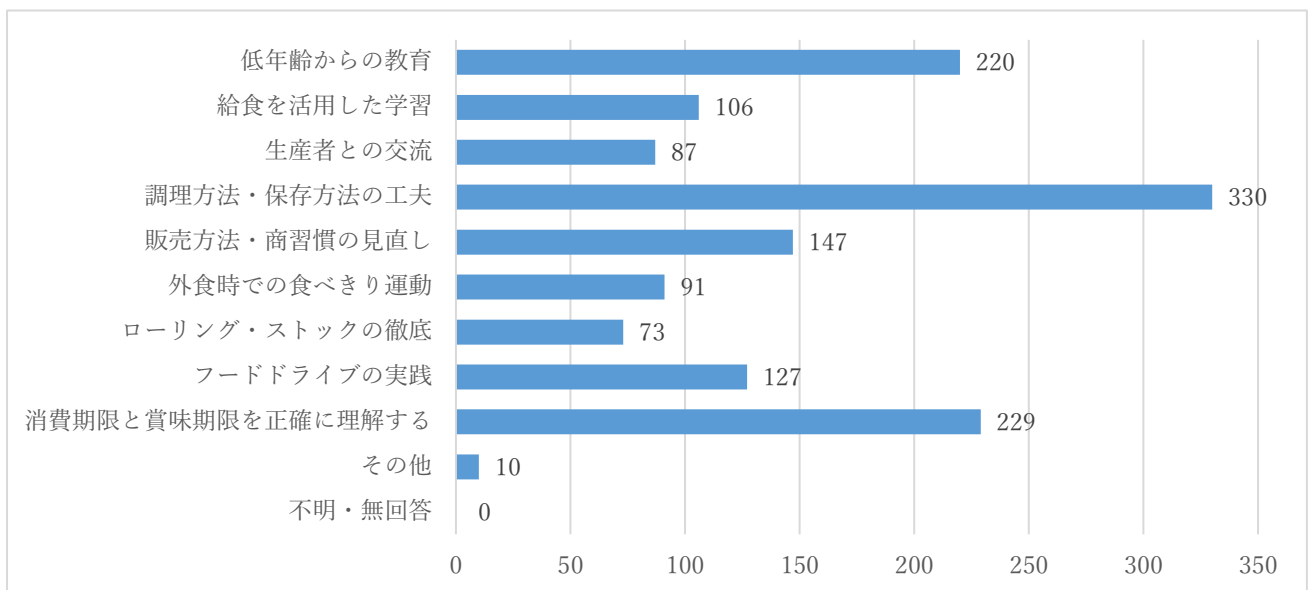
問26 あなたが「食品ロス」を出してしまうときはどんな時ですか。

「食品ロス」を出してしまうときについては、「消費期限、または賞味期限が過ぎてしまった」が最も高く、次いで「食材不足にならないよう多めに購入した」となっています。



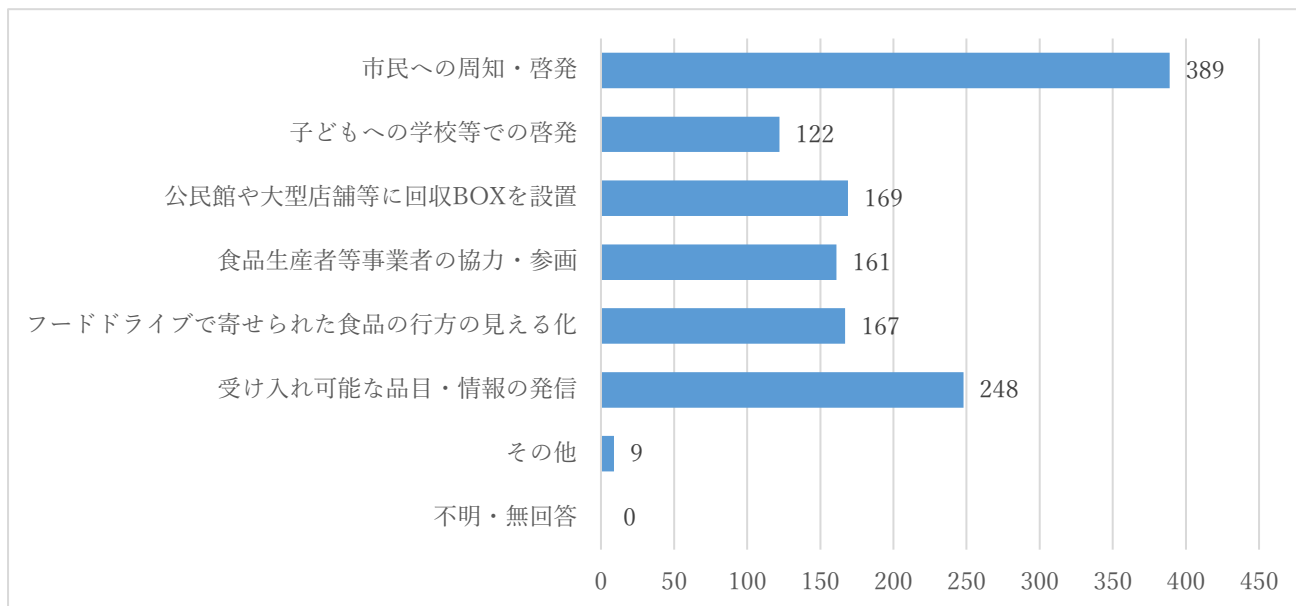
問27 食品ロスを減らすために効果的な手立てはなんですか。

食品ロスを減らすために効果的な手立てについては、「調理方法・保存方法の工夫」が最も高く、次いで「賞味期限と消費期限を正確に理解する」となっています。



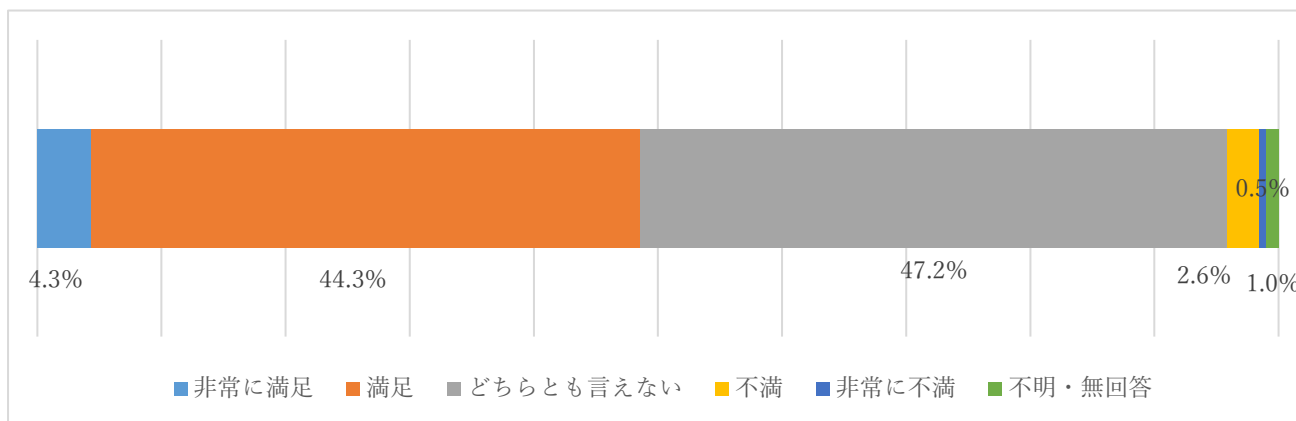
問28 橋本市では令和3年度からフードドライブ事業を実施しています。フードドライブで寄せられた食品は、子ども食堂や必要としている世帯に届けられています。もっと多くの方に参加いただくためには何が効果的ですか。

フードドライブ事業に多くの方に参加いただくための方法については、「市民への周知・啓発」が最も高く、ついで「受け入れ可能な品目・情報の発信」となっています。



ク 広報紙・ホームページについて

問29 広報紙「広報はしもと」の内容やレイアウトなどについてあなたは満足していますか。広報紙「広報はしもと」の満足度については、「どちらとも言えない」が47.2%と最も高く、次いで「満足」が44.3%となっています。



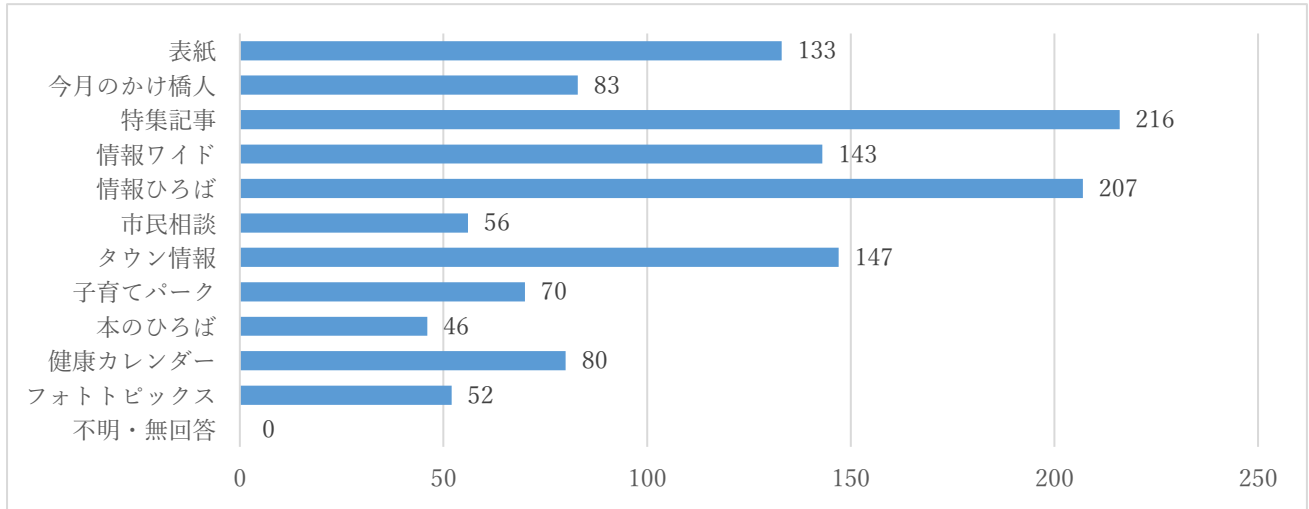
問30 広報はしもとで今後取り上げてほしいテーマや改善してほしい点をお聞かせください。

広報やホームページでは、コロナ予防のためのページはあるのですが、感染した人や感染後については掲載されていないので結構困りました。（例：県からの物資の中に、療養期間中の手引きが同梱されているため、数日間どうしていいかわからなかった。感染後のコロナワクチン接種は何か月空けて予約したら良いかなど。）
広報配布の希望を聞き取り、希望者だけに配布したらよいと思う。
文化会館で行う展示会等を知らせて欲しい。
市の取組みや改善点などの情報や発信されたことが実現できているについて。
子どもが参加、又は観覧ができるイベント。「ミライモンスター」のような若い学生のスポーツ特集
広報の担当者は何年かに一度異動で変わっていると思うのですが時々拝見させていただくが以前の内容とさほど差がなく興味がわからない。変えようという意識が伝わってこない
橋本市の観光スポットを連載してほしい。写真（絶景を載せて）市民が行ってみたい場所をレポートしてほしい。
高齢者でも、仲間づくりし、趣味などで仲良く楽しい場所づくりに貢献し、高齢者の健康維持などに気配りしている人などを掲載すると、皆様の励みになるのではないのでしょうか。
相談しにくく小さな事柄を、聞いてくれる内容をテーマ別にして、Q&A方式で毎月広報に掲載するなど。市内の課、外部団体等の日々活動していることを掲載すると、市民への理解度が上がると思う。
子供向けに市内の習い事についての情報を知らせて欲しい（年に1回程度）
老人会の活動状況、地域活動の広報、趣味サークルの情報
橋本市の進出企業の内容、商工業者の内容
SDGsについてはまずは指標の方を啓発すべきだと感じる。そもそもジェンダー平等の意識が低いので17すべてのゴールは達成できないと感じる。SDGs以外を充実させる方がいいのではないかな。
必要でない人には配布しないようにし、デジタル化を推進すべき。
耕作地の手入れ、保全に関するアピールを記事にしてほしい。
下水道未整備地区の今後の計画等について掲載してほしい。
空き家状況やスポーツ面に関しての情報
小学校での発達障がい児への理解、いじめについての授業実施など全ての市民が橋本市で暮らしやすくする為に広報を活用してほしい。
野菜を使用した料理のレシピ
各地でのイベント、他団体・他地域との交流の取組み
介護の受け方や施設の紹介、入所するための手続きや方法
制度や手続きの方法、防災などの取組み
掲載ページの場所が分かりづらい
市の特産品

形式的で堅いイメージがあるので、引き込まれるような見出し、市民の参加意欲が高まる内容がほしい。
橋本市の農家を広報に載せ、活動を多くの皆さんに知っていただきたい。
橋本市の歴史、自然、文化等の各分野における新しい情報や活動内容
結婚や出産に関心のもてる楽しい話題
筒香球場について取り上げてほしい
転入者の情報とその声の紹介。また市民が利用できる施設の情報
介護に関する情報や学校（小・中・高）の情報がほしい
おすすめグルメ特集など、はしもとのお店やおいしい食べ物を知りたい。
税金をどのように市民サービスに利用されているか
不要な着物を活用できる取組み
もう少し字を大きくしてほしい
チャレンジし頑張っているこども達（スポーツ、趣味等）、いろんな特技を持ったおじいちゃん、おばあちゃん、ペット特集
橋本市の人口に関することや図書館の本の紹介
介護施設の紹介
色んな方のインタビューコーナーがあるといいと思う。（市役所の各課の人や高齢者の方々など）子育てしているママと子どものコーナーは面白かった。
広報がどうすれば手に入るかを知らない。自由に持ち帰れるようにどこかに置いてほしい。
旬の野菜を使った料理や、市内のおいしい食べ物のお店の紹介
橋本お得情報、農作物の情報、近隣市町村との連携情報
こどもに自分の住んでいる市がどんな取組みをしているか知ってほしいのでそういうページがあっていいと思う。
橋本市でできる仕事。どんな人がどんな仕事を橋本市でしているか。インタビューして仕事の詳細ややりがいなどを聞く。
市内の自営業者の声を取り上げてほしい。
橋本市の未来の担い手である子供達(小学生～高校生)の橋本市への要望や問題点を上げてもらう。特に住んでいる地域や年齢によって問題も様々なため、何回にも渡って特集を行ってみてはどうか。
サークルや勉強会などの紹介の充実。
文字ばかりだと、読みにくいので、イラストや写真等を増やしてほしい。
子供が参加できるイベント
地域で行われているイベントなどの告知
補助金など重要な情報は、もっと強調してわかりやすく表現してほしい。
防災に関するノウハウや、様々な企業や省庁への職場訪問を通じた企業広報等の充実

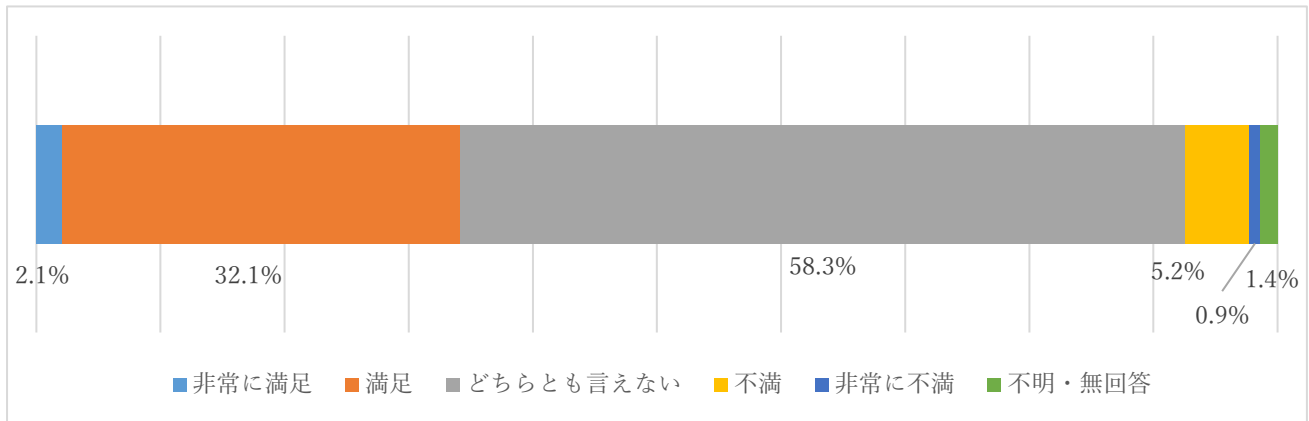
問31 広報はしもとで興味がある記事やよく読むコーナーは何ですか。

広報はしもとで興味がある記事やよく読むコーナーについては、「特集記事」が最も高く、ついで「情報広場」となっています。



問32 橋本市ホームページの内容やレイアウトなどについてあなたは満足していますか。

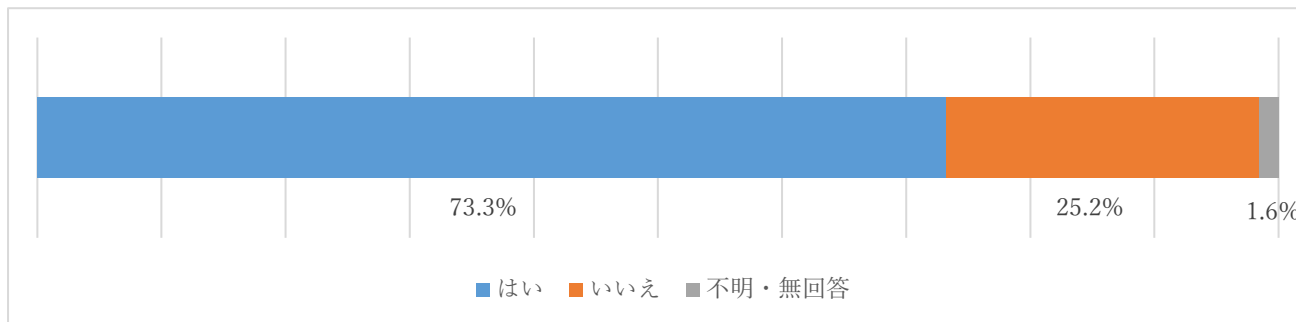
広報紙「橋本市ホームページ」の満足度については、「どちらとも言えない」が58.3%と最も高く、次いで「満足」が32.1%となっています。



ケ インターネットの利用について

問33 過去1年間において、インターネット（電子メールやメッセージの送受信、情報の検索、ソーシャルネットワークサービス（SNS）の利用、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか

インターネットの利用については、「利用したことがある」が73.3%で、「利用したことがない」が25.2%になっています。



問34 保有しているか否かにかかわらず、あなたがインターネットを利用した機器は何ですか（問33で「はい」を選んだ方が対象）

インターネットを利用した機器については、「スマートフォン」が最も高く、ついで「パソコン」となっています。

